

資料2

第1回新しい「三重のものづくり産業」のあり方検討 有識者会議

アンケート調査の概要

アンケート調査票の回収状況は、9月14日9:30時点で735件である

アンケート調査概要(速報)

| | |
|------------|--|
| 調査票タイトル | コロナ禍等社会経済情勢変化への対応状況調査 |
| 調査票配布数・回収数 | 配布:3,264件 回収735件(回収率22.5%) うち回答途中299件(9.2%) |
| 調査期間 | 2020年9月4日から同年9月15日まで |
| 調査方法 | URLとQRコードを付した葉書を送付することによるWebアンケート(うち、紙での配布16件) |

三重県内に本社を置く製造業企業を中心にアンケート調査を実施した

アンケートの概要

目的

「新たな日常」に適應した新しい「三重のものづくり産業」のあり方を検討・整理し、今後の産業振興施策につなげていくことを目的とし、県内ものづくり企業の実態を把握するため、アンケート調査を実施した。

設問

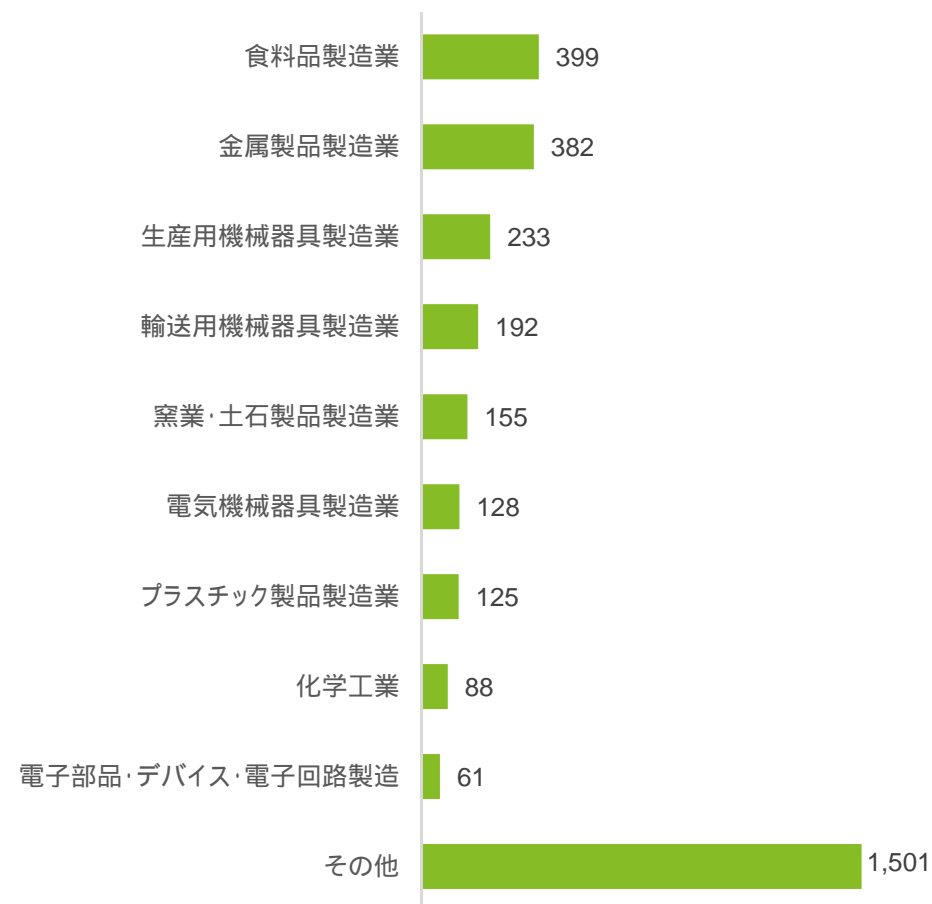
製造業分類などの企業属性や回答内容により質問内容の分岐を設定しているため、回答数(n)は設問ごとに異なる。また回答途中の企業の回答情報も分析に使用しているため、同じ企業属性向けの質問であっても回答数(n)が異なる場合がある。

分析の妥当性

母数3264件に対して95%信頼区間、許容誤差5%を満たす統計上の必要サンプル数は344件であり、本調査での回答完了数436件は統計上の有意なサンプルである。

なお、今回ご提出するアンケート分析内容は速報値であり、次回の有識者会議にて詳細な分析結果を報告する

アンケート送付対象企業(製造業種別)



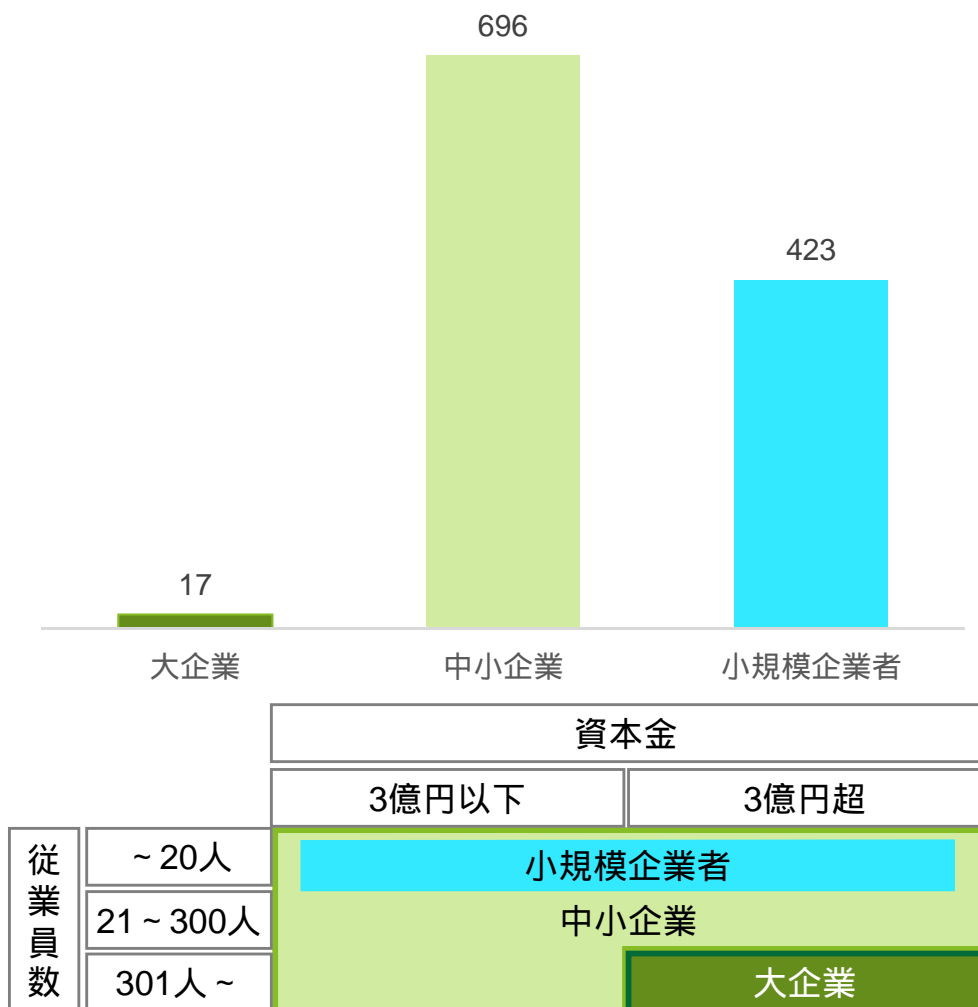
その他に含まれる主な種別ははん用機械器具製造業、繊維工業、木材・木製品製造業(家具を除く)等

アンケート分析結果(速報)

回答企業の属性

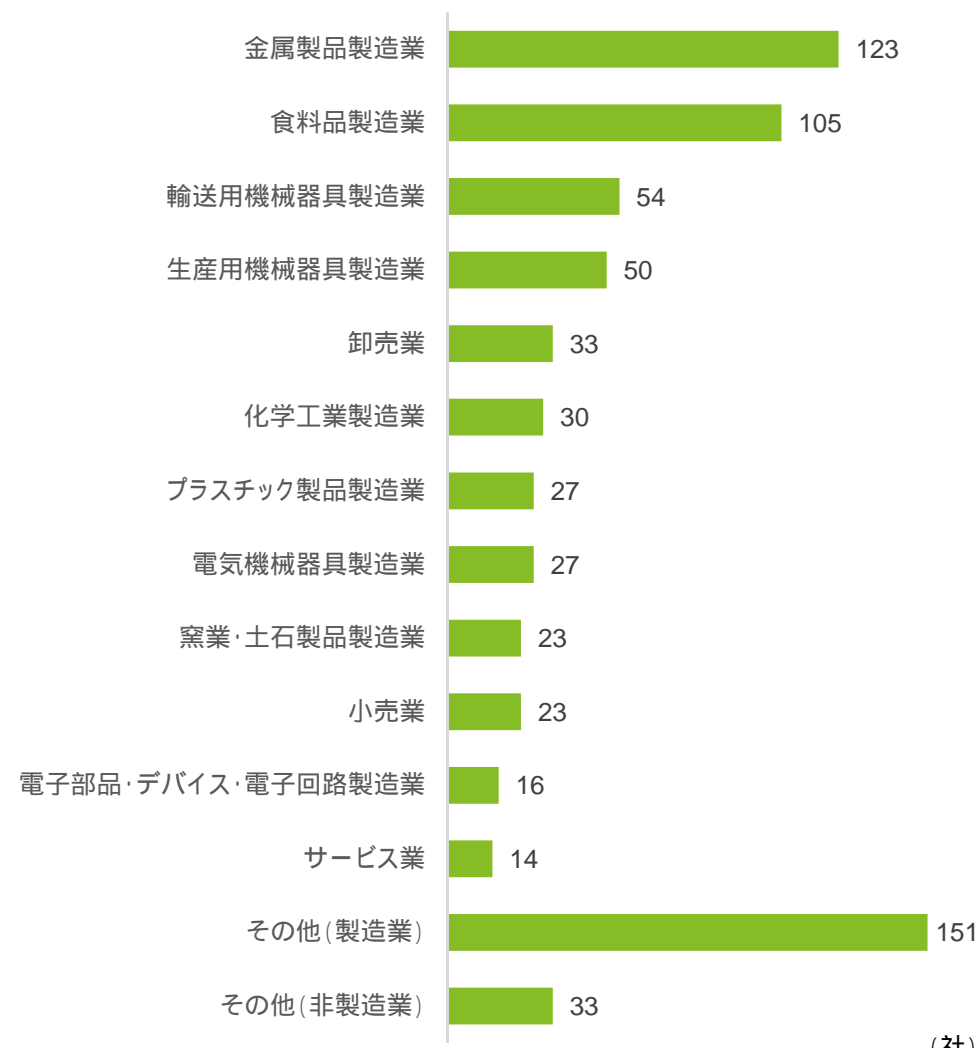
企業規模別回答数 (n=713)

(社)



中小企業基本法の中小企業に含まれる小規模企業者が423社であった

業種別回答企業 (n=709)



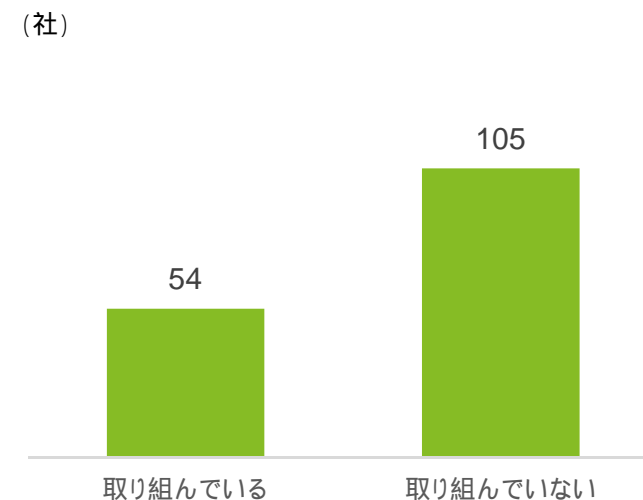
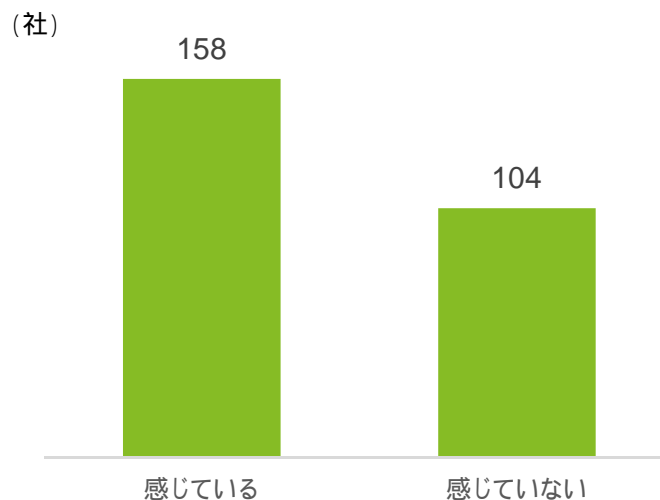
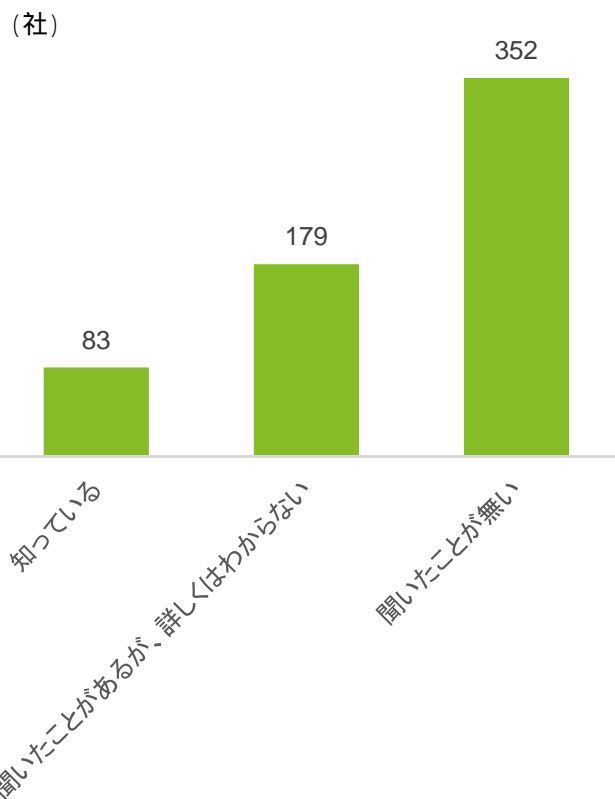
(社)

DXに関するアンケート結果で、「DXという言葉を知っているか」の質問は、57%が聞いたことがないとの回答であった

人口減少、CASEの進展、コロナ禍等の事業を取り巻く環境変化を踏まえて、デジタル・トランスフォーメーション(DX)によるビジネス変革の必要性が注目されていますが、DXという言葉をご存じですか。最も近いものを一つお選びください。(n=614)

貴社ではDXの活用を含めた現状のビジネス変革の必要性を感じていますか。(n=262)

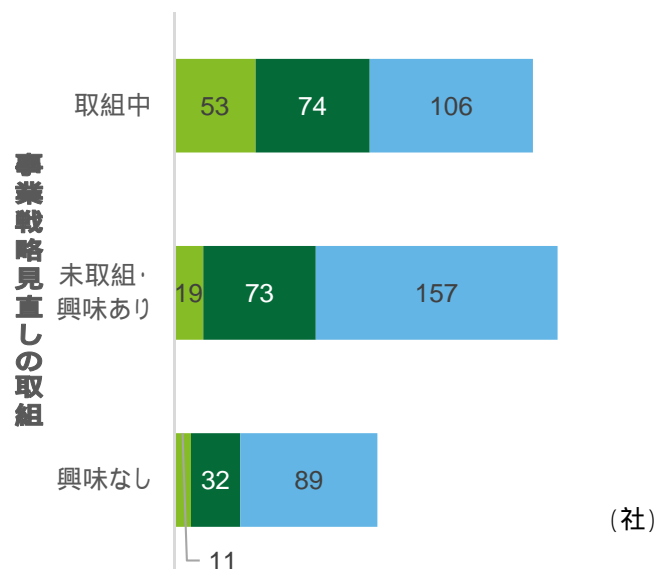
またそのような取組を行っていますか。(n=159)



【分析結果1】 CASEの進展とコロナ禍による環境変化で事業戦略の見直しを意識している企業ほどDXへの関心が高い

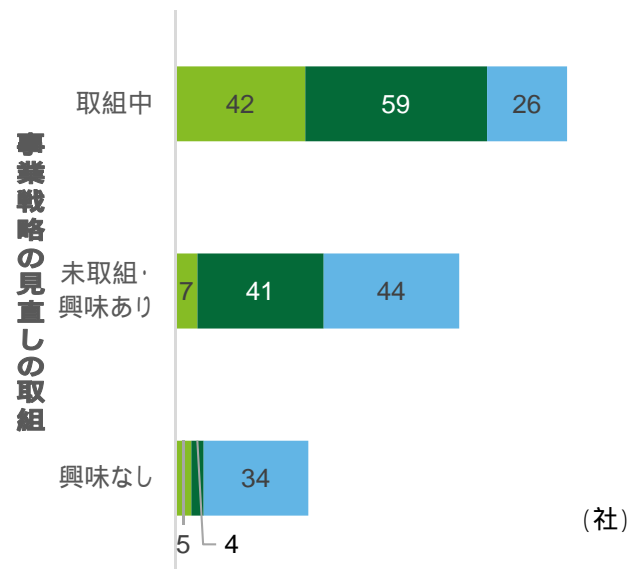
DX認知度 (n=614)

- 知っている
- 聞いたことがあるが、詳しくはわからない
- 聞いたことが無い



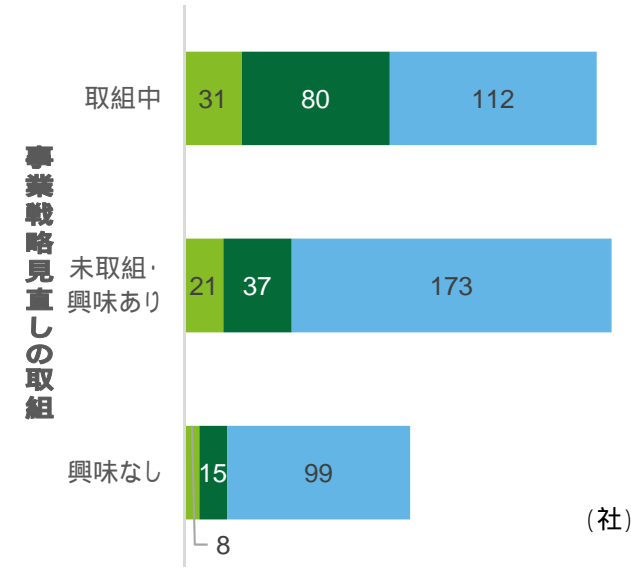
DX実施状況 (n=262)

- DX実施
- DXは未実施だが意向がある
- DXへの意向がない



DXセミナーへの希望 (n=576)

- 説明会会場での参加を希望する
- Web中継からの参加を希望する
- 参加を希望しない



事業戦略見直しへの意欲が高い企業ほどDXへの情報感度が高い傾向が見られた

事業戦略見直しへの意欲が高い企業ほどDXを実施している傾向が見られた

事業戦略見直しへの意欲が高い企業ほどDXセミナーへの参加の意向が強い傾向が見られた

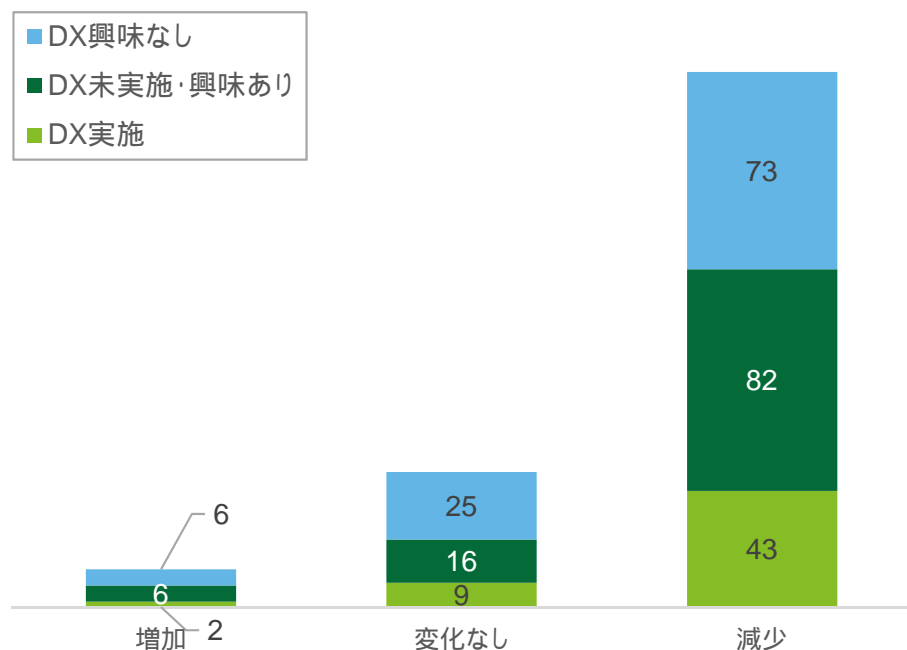
県内企業に対するDX支援は、事業戦略見直しの取組意欲が高い企業をターゲットとすることで企業側のニーズに応えつつ合理的な支援ができる可能性がある

【分析結果2】コロナ禍により業績に悪影響を受けた企業ほどDXへの関心が高い

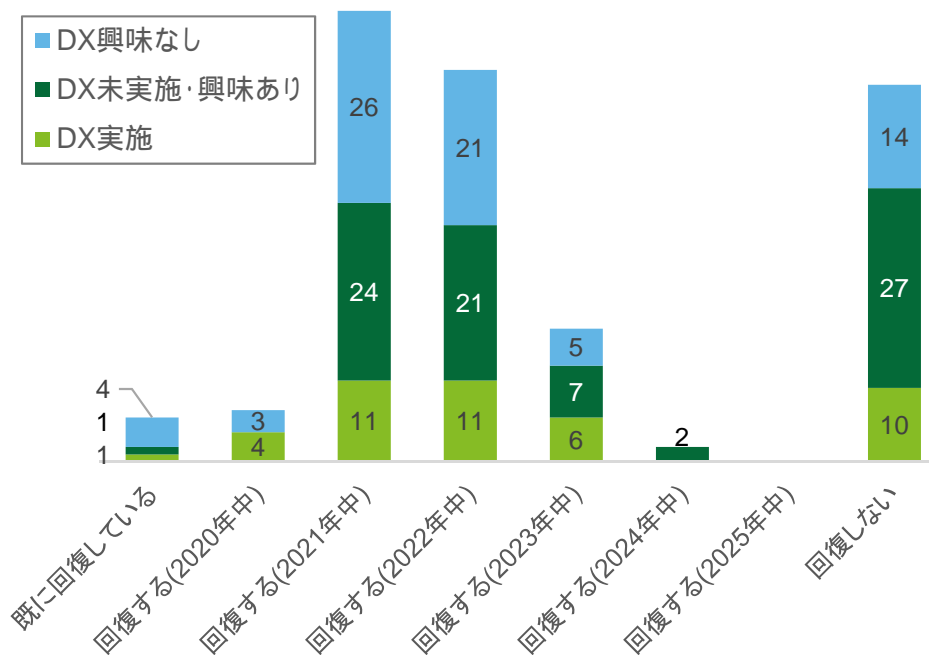
コロナ影響別DX実施状況
(n=262)

コロナ禍前への回復想定別DX実施状況
(n=198)

(社)



(社)



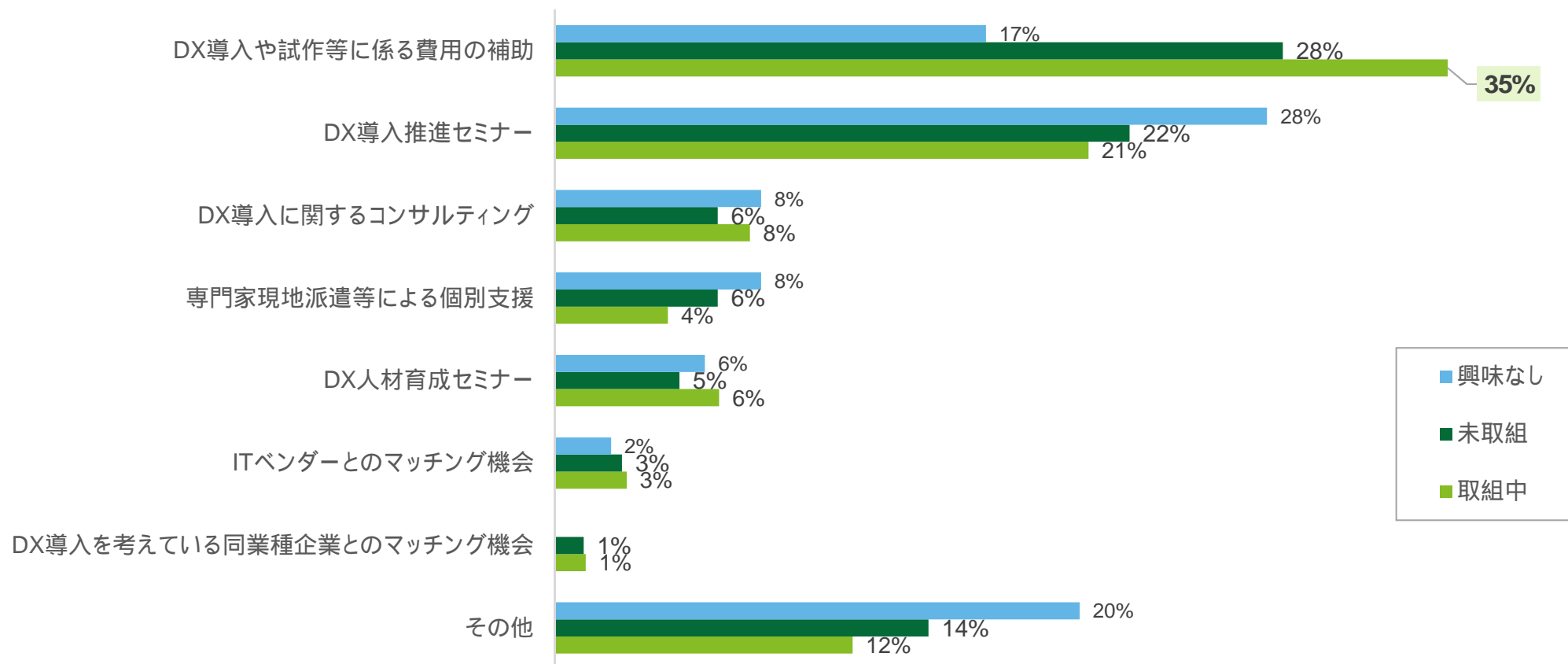
コロナにより業績が悪化した企業ほど、DXに対する関心が高い傾向にある

コロナ前の業績に戻る期間が遅い、または回復しないと考える企業ほど、DXに対する関心が高い傾向にある

コロナ禍により業績への悪影響を想定している企業ほど、現状打破の手段としてのDX導入に期待をしている様子が見られる

【分析結果3】 県内企業は行政に対して主に費用面と情報面の支援を求めている

事業変革への取組別行政に期待するDX支援施策 (n=660)



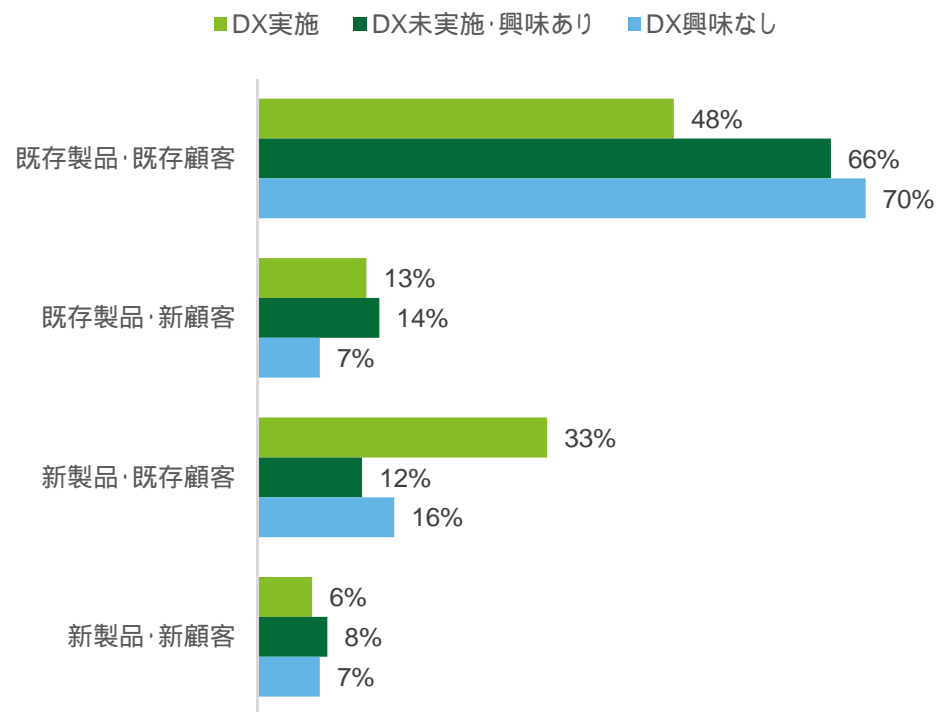
DXに取組中企業は「DX導入や試作等に係る費用の補助」を行政に求めている

DXに興味のない企業はセミナーやコンサルティングにより、そもそもDXにより何が得られるのかという情報を求めている

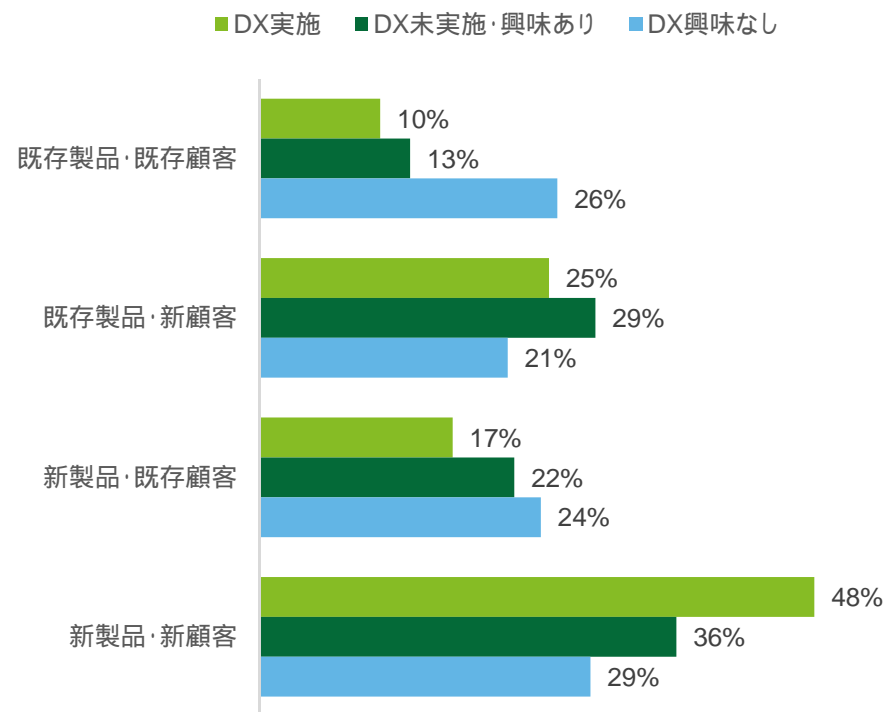
DXに興味がない企業に向けては、DXの利点をセミナー等を通して伝えることが必要
DXに既に興味があり、進めている企業に対しては費用面などの支援が有効

【分析結果4】 DX取組中の企業は新製品開発に取り組んでおり、今後は新顧客に提供することを考えている

現在の事業戦略見直しの方向性(n=218)



今後の事業戦略見直しの方向性(n=218)



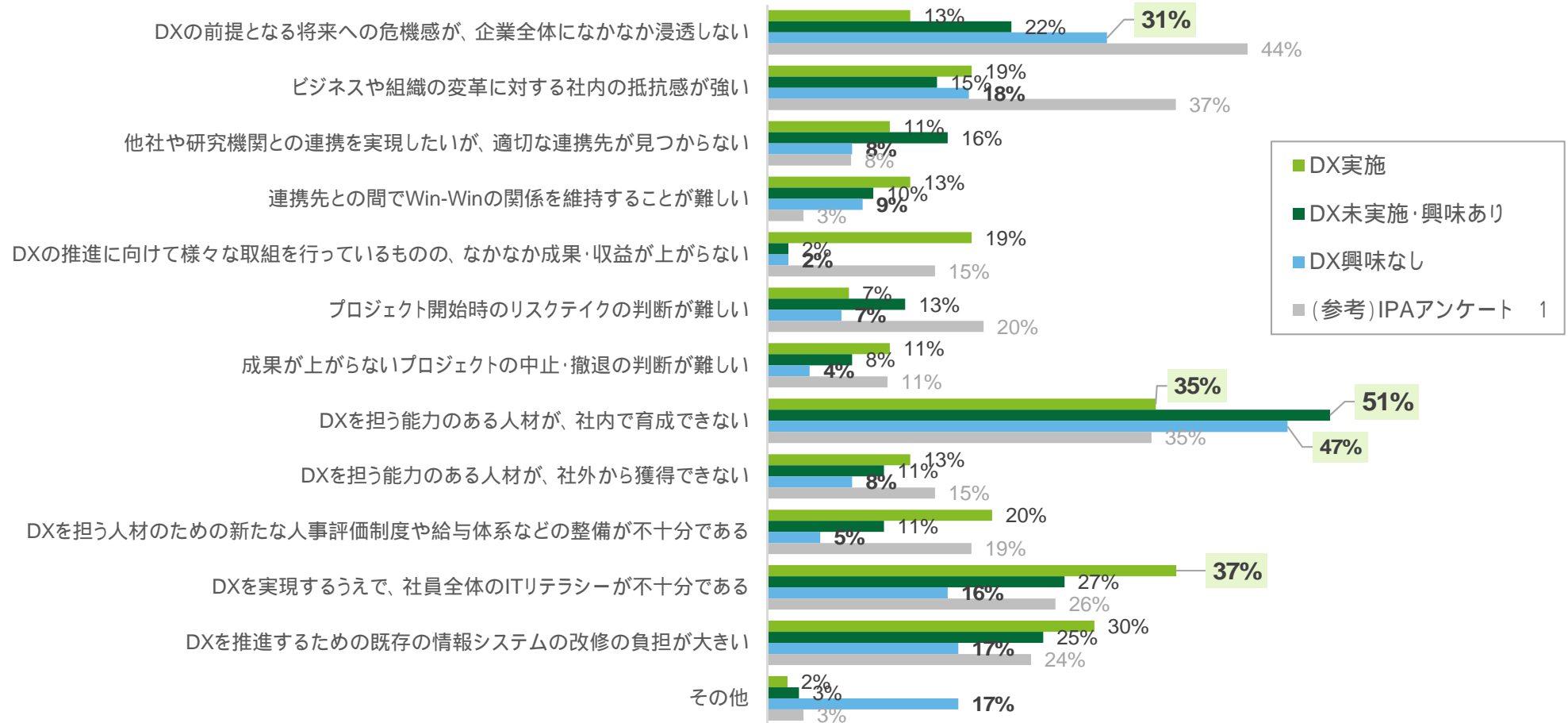
現在DXを実施している企業は、新製品を作成することで事業戦略変革を目指している傾向

今後は新たな顧客への販売による事業戦略変革を目指す企業が多い傾向

現在DXを行っていない企業にはDXを用いた新しい製品開発の支援が、既にDXを行っている事業者には新製品を新顧客に展開するためのマッチング支援が企業側の重要ニーズと見られる

【分析結果5】 DXの必要性を認識しつつもDXを推進できない課題として、DXを担う能力のある人材不足が挙げられている

DX推進上の課題(n=262、IPAで実施されているアンケート¹と同じ質問項目を設定した)



人材不足やITに関する専門知識の欠如がDX推進上の課題として認識される傾向

プロジェクト開始・撤退判断や、ビジネス変革への抵抗感は、IPAのアンケート結果よりも小さい傾向

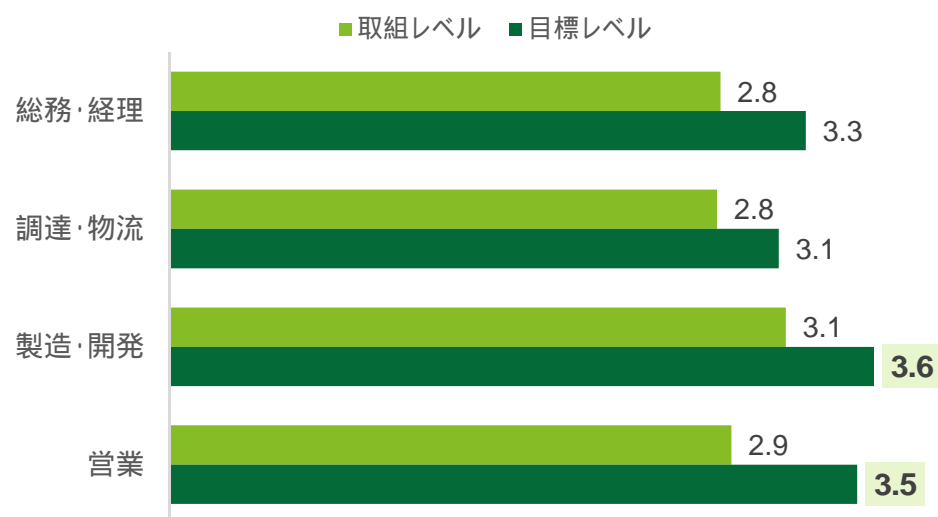
県内企業は、人材不足や専門知識の欠如により、DX導入が進んでいないが、これらを支援することで速やかなDX導入を進めることができる可能性がある

1: 情報処理推進機構「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」、2019

【分析結果6】 企業は「製造・開発」「営業」部門へのDX導入を目指している

実施中のDXレベル(DX実施中企業のみ、n=54)と
目標DXレベルの平均値(DX興味あり企業、n=152)

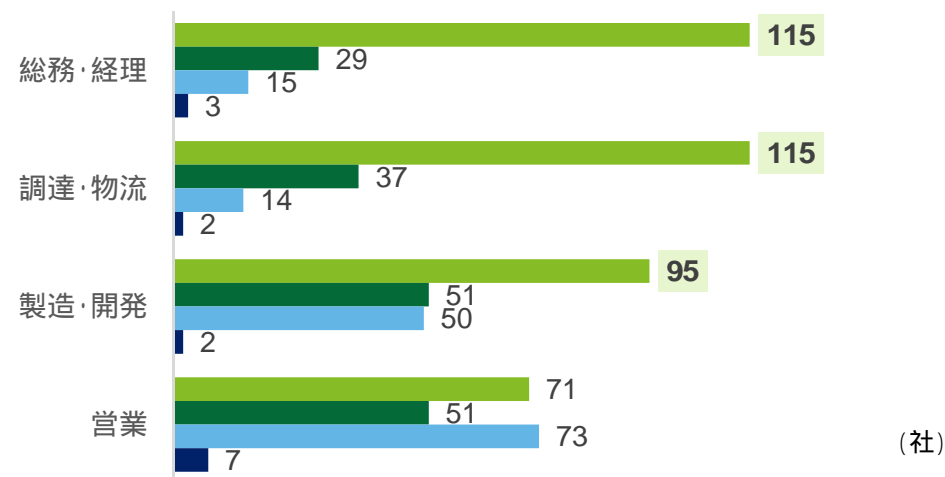
- 1...IoT技術の活用やデータの活用は特に行っていない
- 2...既存のIoT技術を活用しているが、部門のデータ活用は行っていない
- 3...部門のデータ活用のため、データ収集は行っているが活用できていない
- 4...部門でデータ収集を行い、部門内でそのデータを活用している
- 5...部門でデータ収集を行い、他部門へのデータ共有・関係を図っている



企業は「製造・開発」「営業」部門において
DX導入を目指している傾向が見られる

分野別のDX導入の目的(n=152)

- 業務効率化に伴う生産性向上
- 既存ビジネスの変革
- 新規ビジネス創出
- その他



「総務・経理」「調達・物流」部門でのDXは業務効率化、「製造・開発」「営業」部門でのDX導入はビジネス変革や新規ビジネス創出を目的に行われる傾向が見られる

新規ビジネス創出や既存ビジネスの変革を目指す事業者は
「製造・開発」「営業」部門でのDX導入支援を求めている

今後はDX取組中グループからヒアリング等で導入経緯等の知見を吸い上げ、意欲があるが取り組めていない企業への具体支援策を検討する方向で進めたい

分析結果

【分析結果1】 CASEの進展とコロナ禍による環境変化で事業戦略の見直しを意識している企業ほどDXへの関心が高い

【分析結果2】 コロナ禍により業績に悪影響を受けた企業ほどDXへの関心が高い

【分析結果3】 企業は行政に対して主に費用面と情報面の支援を求めている

【分析結果4】 DX取組中の企業は新製品開発に取り組んでおり、今後は新顧客に提供することを考えている

【分析結果5】 DXの必要性を認識しつつもDXを推進できない課題として、DXを担う能力のある人材不足が挙げられている

【分析結果6】 企業は「製造・開発」「営業」部門へのDX導入を目指している

今後の支援の方向性について

DX
意欲なし
グループ

セミナー等でDXを用いた事業戦略見直しの取組により利益向上する企業事例の紹介等情報提供することで、まずはDXへの興味を持ってもらうことが必要
特に県内企業の成功例は中小企業の思い腰を上げるインセンティブになると考えられるため、意欲なし企業が検討・さらには計画・実行までする、成功例を生み出すことを目指す

DX
意欲有り
未取組
グループ

セミナー等でDX活用の先行事例やDX推進のための補助金を紹介することで、具体的なDX実装計画の策定支援が肝要
特に企業は「製造・開発」「営業」部門でのDX化を目指しており、これらの部門でのDX活用事例を精査していくことが必要

DX
取組中
グループ

DX進展に資する具体的な補助金の紹介や新製品のマッチング支援策などを通じ、既に動き出しているDX推進の取組を加速・向上させる支援が重要
また、ヒアリングを通じ、DX開始の経緯や実装の具体方法など、県内他企業への水平展開可能な知見を収集し、整理・応用することが必要

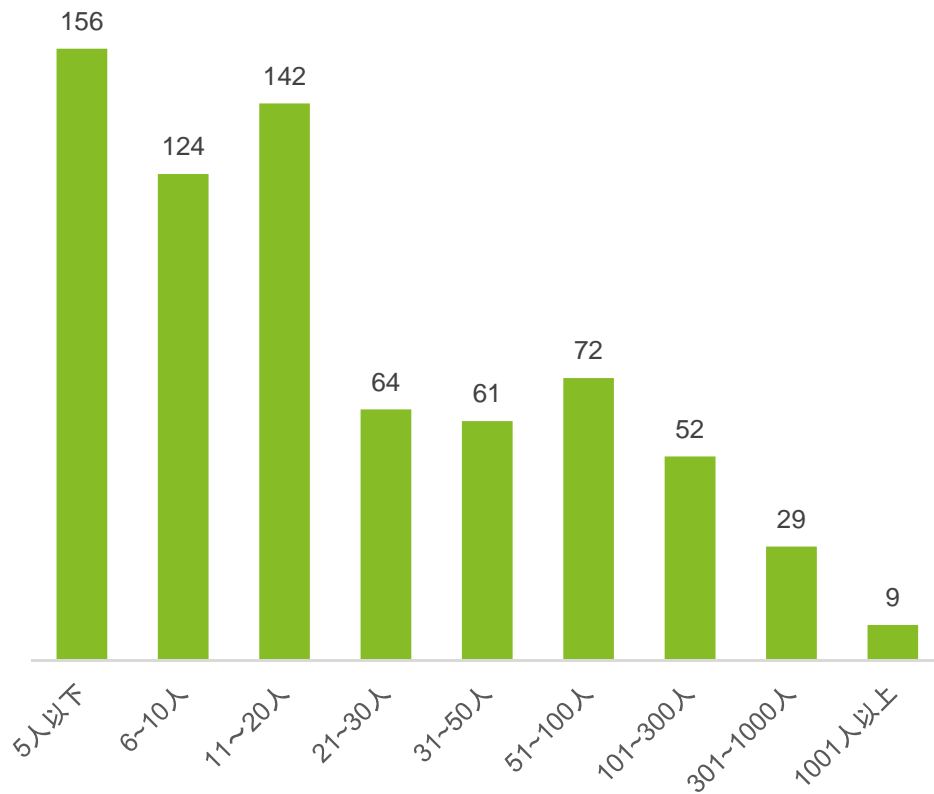
アンケート集計結果

【質問0】

従業員数(n=709)

貴社の従業員数をお選びください。

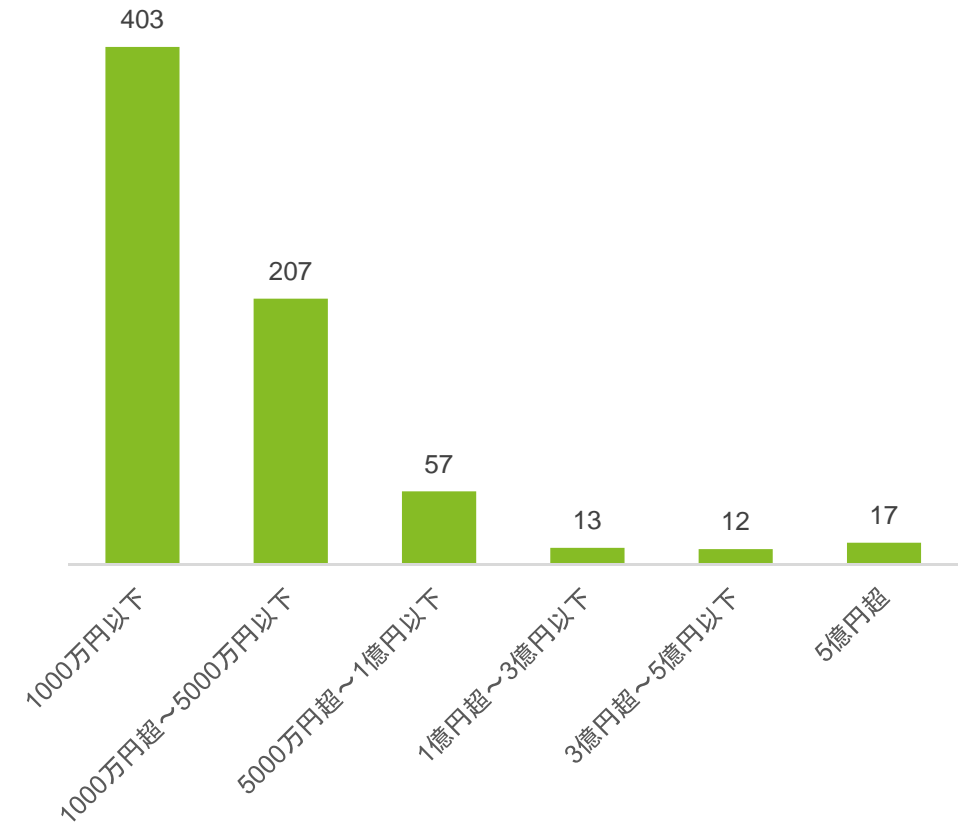
(社)



資本金額(n=709)

貴社の資本金をお選びください。

(社)

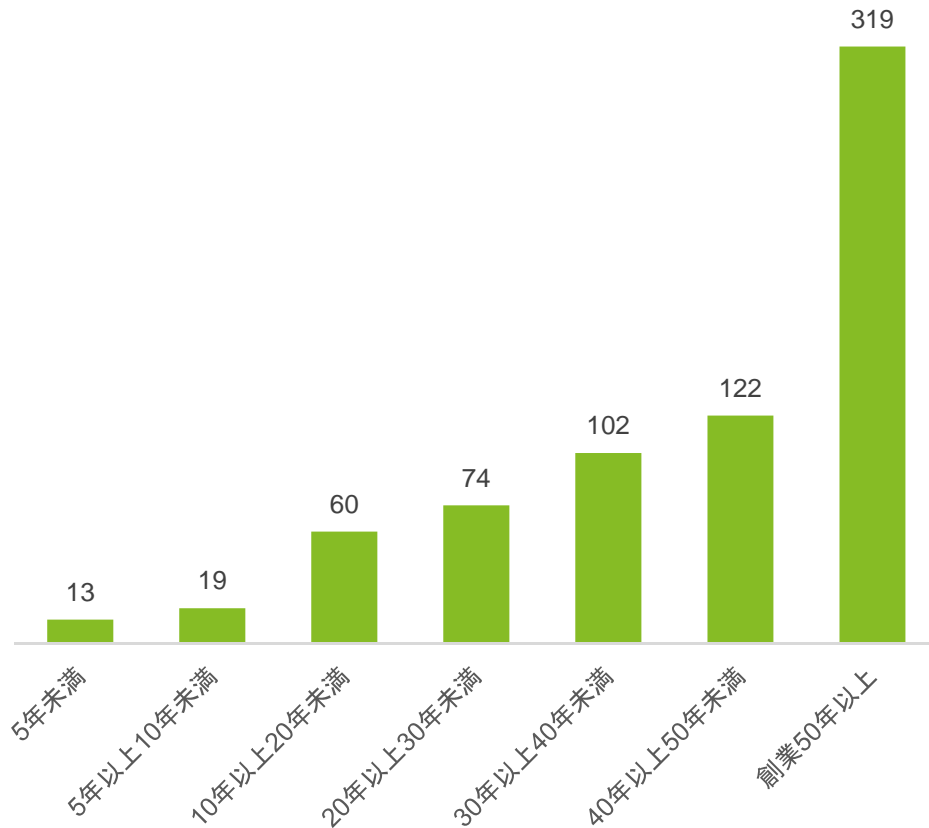


【質問0】

業歴(n=709)

貴社の業歴をお選びください。

(社)



業種(n=709)

貴社の業種をお選びください。



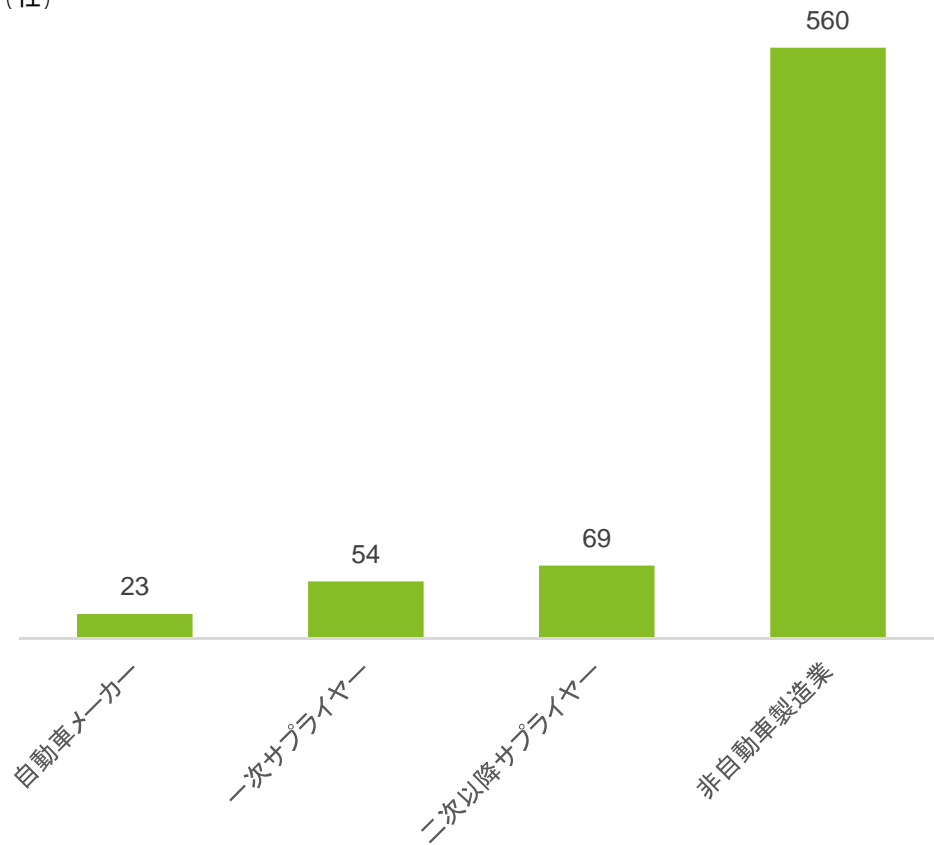
(社)

【質問1】

納入先について (n=706)

貴社の製品・商品の最も売り上げ規模の大きい納入先または主なサービスの提供先を一つお選びください。

(社)

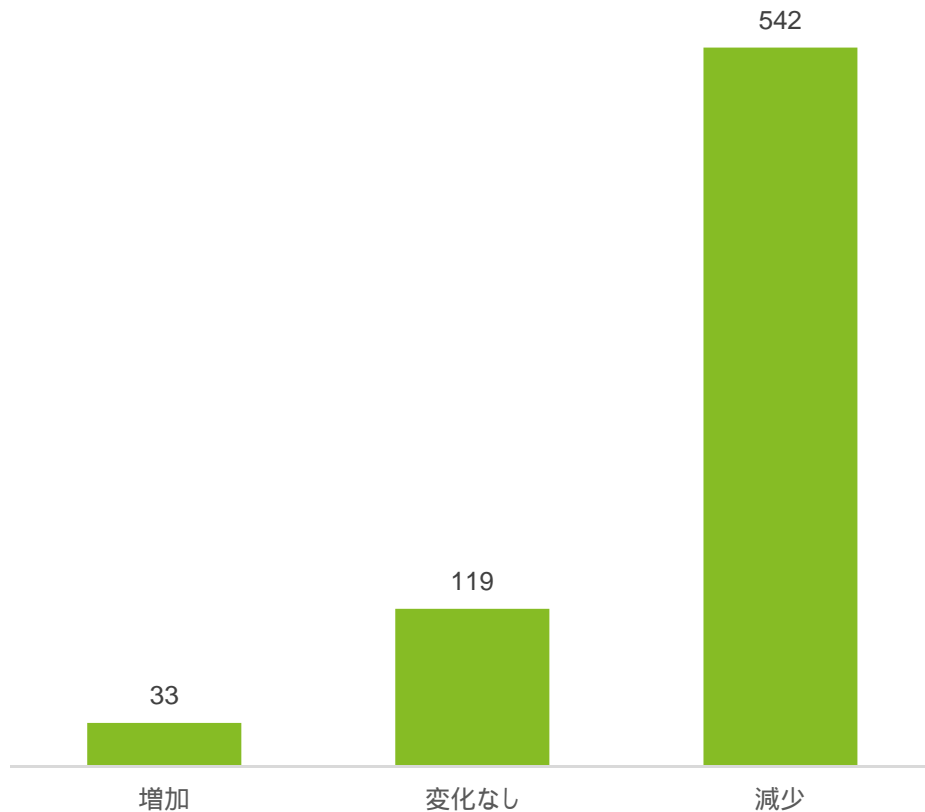


【質問2】

出荷額(販売額)の変化(n=694)

新型コロナウイルス感染症の拡大(以降、コロナ禍と記載)により貴社の事業が受けた影響を一つお選びください。

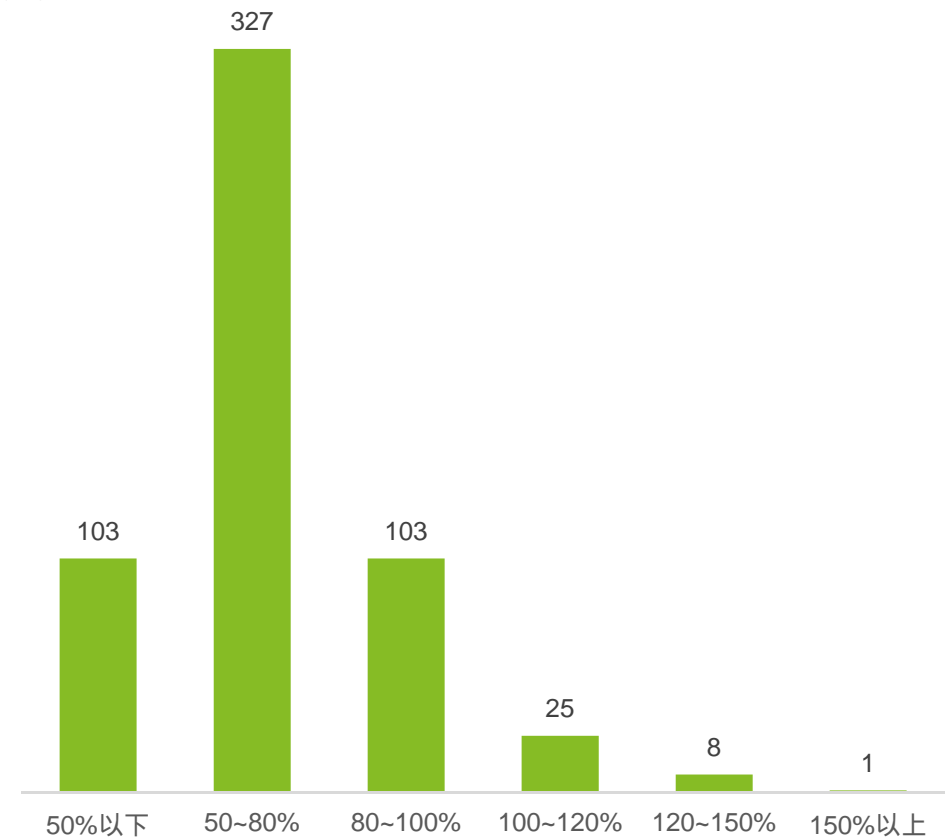
(社)



2019年比の2020年出荷額(販売額)見込み(n=567)

「増加」、「減少」を選んだ場合、2019年出荷額を100とした場合の、2020年出荷見込額を数値でご記入ください。

(社)



【質問2】

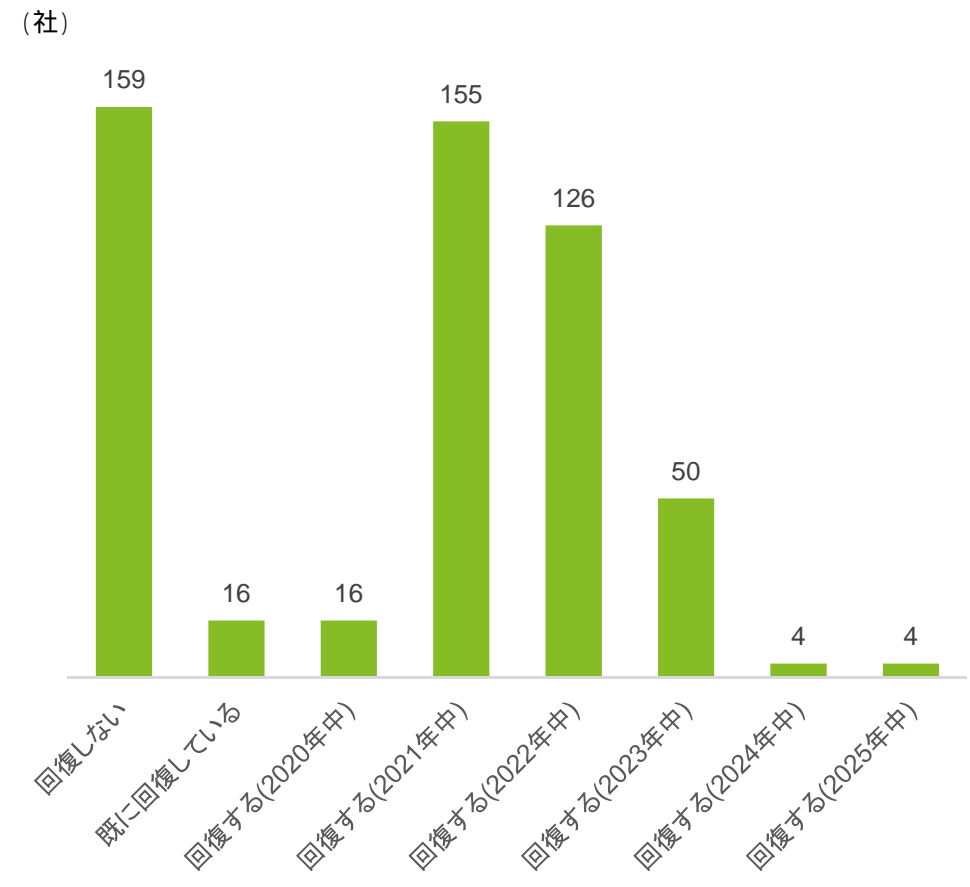
コロナによる影響事由 (n=694)

コロナ禍により貴社の事業活動に影響が出ている事由をお選びください(複数選択可)。



コロナ回復見込み(n=530)

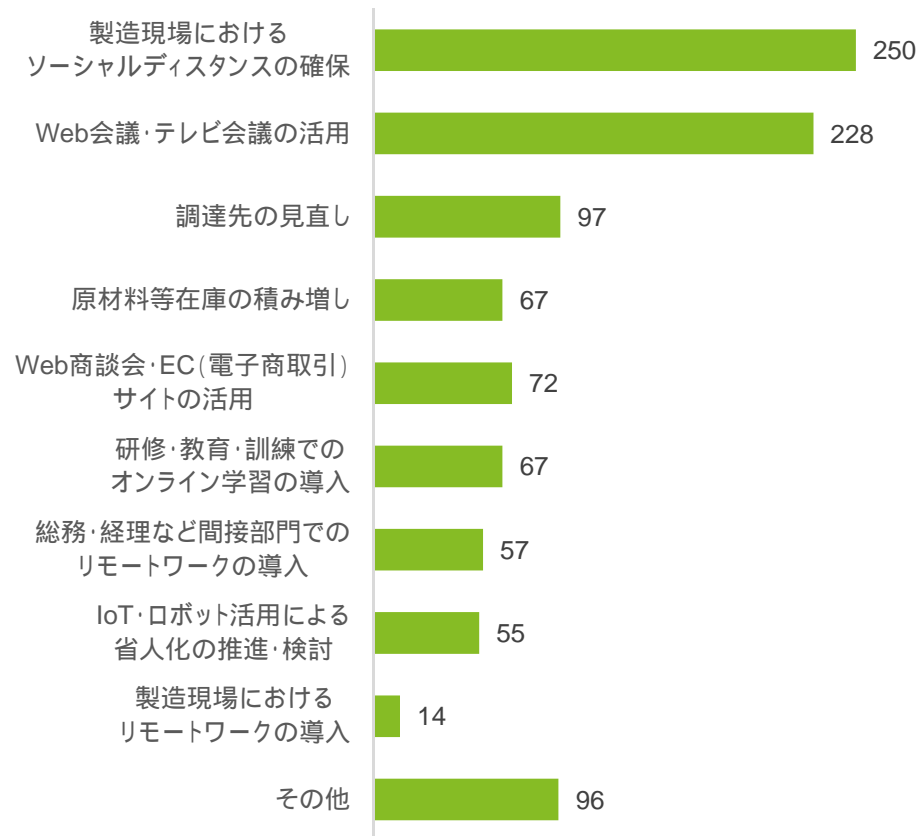
出荷額がコロナ禍以前の水準に回復が想定される時期について、最も近いものを一つお選びください。



【質問3】

コロナ対策の取組 (n=694)

現在、貴社が取組むコロナ禍対策に該当するものをお選びください
(複数選択可)。



「その他」の内訳

- ・マスク等の感染対策
- ・リモート勤務の活用
- ・資金調達
- ・事業領域の転換
- ・経費削減
- ・特になし 等

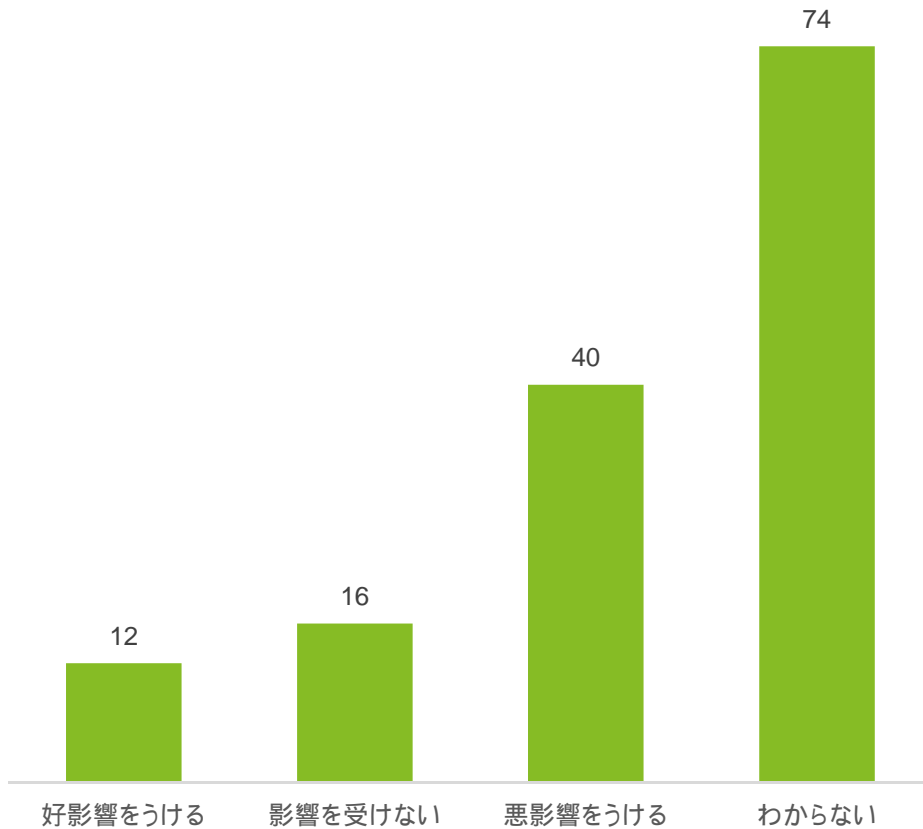
(社)

【質問4】

CASEにより受ける影響(n=142)

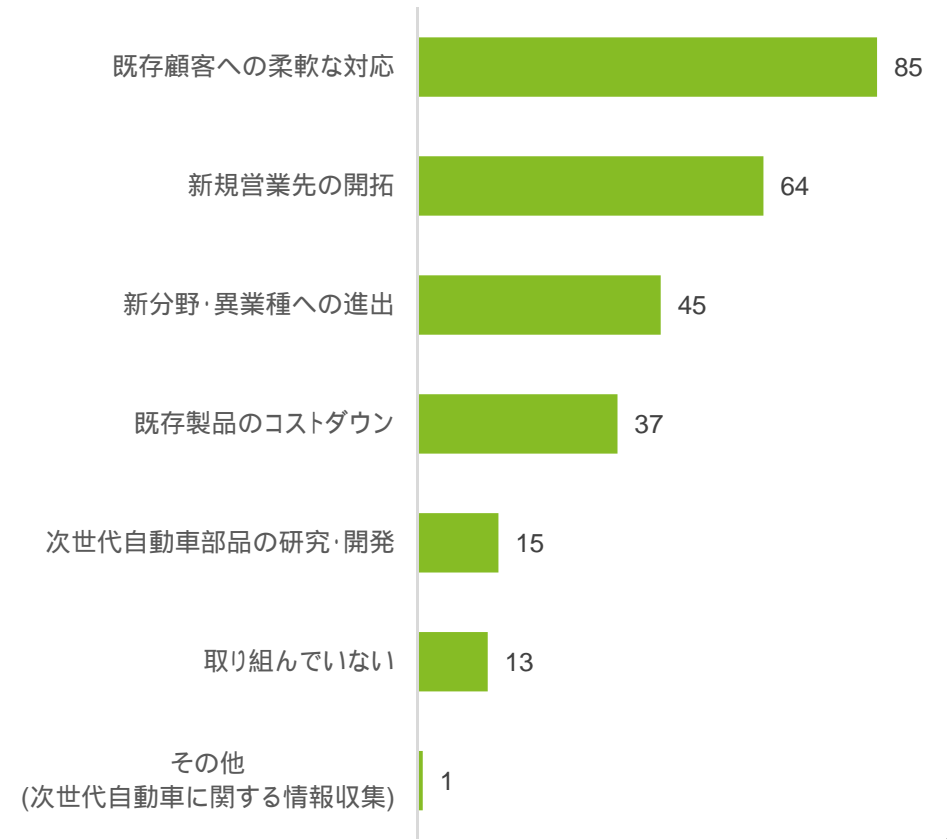
CASEの進展等、自動車業界における産業構造変化が、与える影響に最も近いものを一つお選びください。

(社)



CASEに対応して実施している取り組み(n=142)

また、この変化に対応して実施している取組をお選びください(複数選択可)。



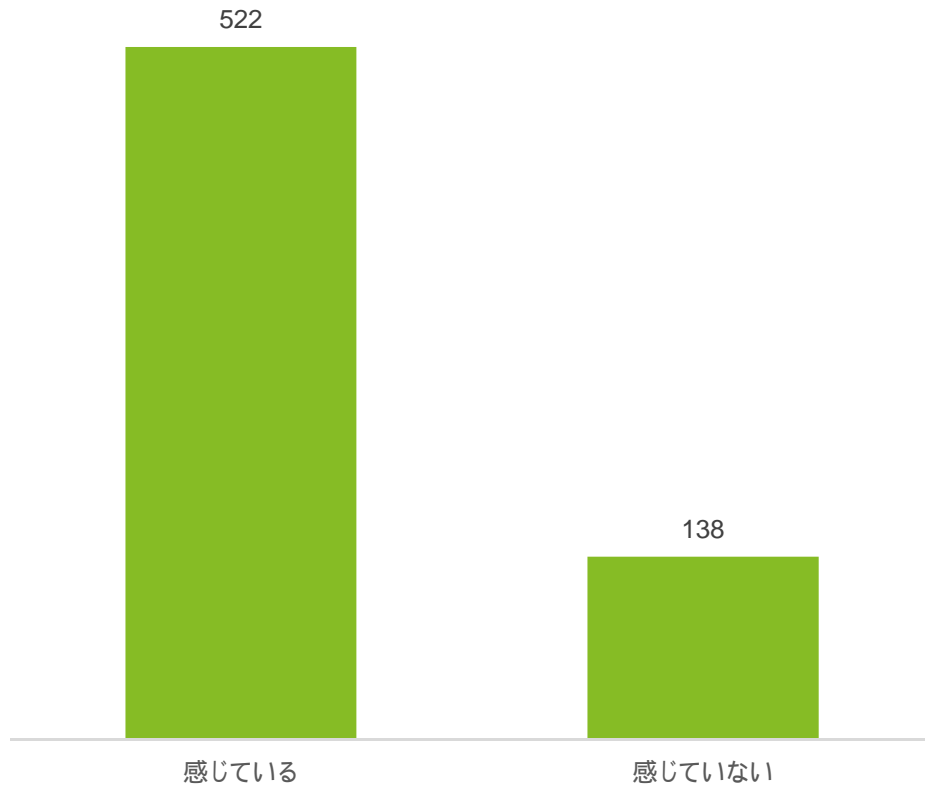
(社)

【質問5】

事業戦略見直しの必要性 (n=660)

人口減少、CASEの進展、コロナ禍等の事業を取り巻く環境変化を踏まえて、貴社の事業戦略を見直していく必要性を感じていますか。

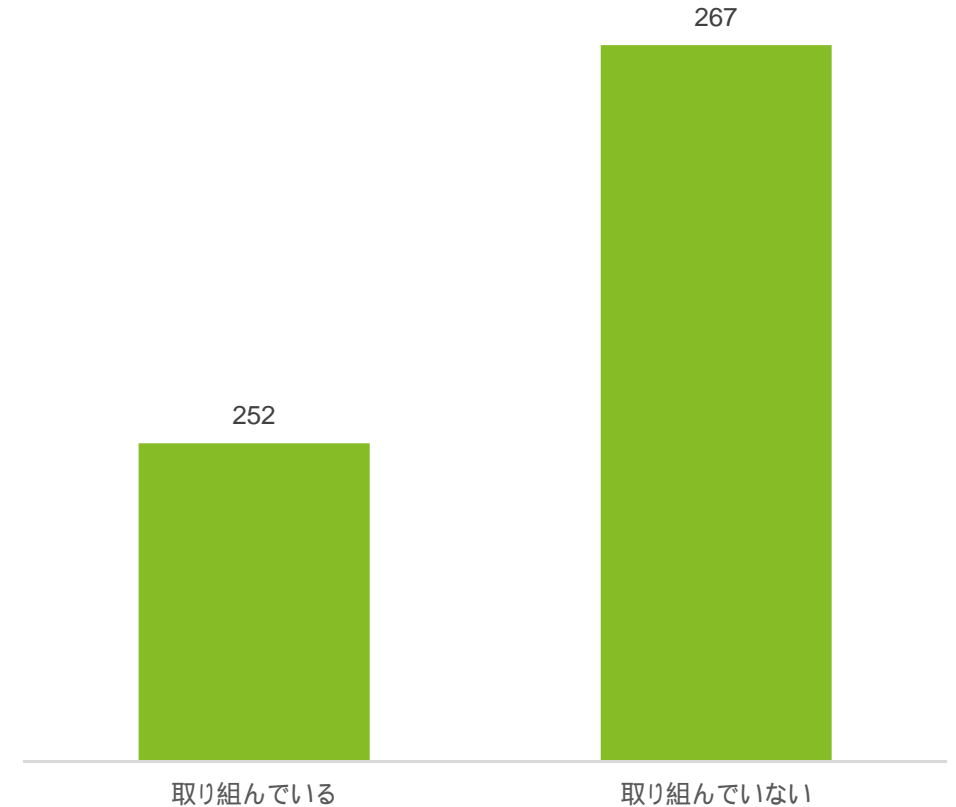
(社)



事業戦略見直しの取組 (n=519)

またそのような取組を行っていますか。

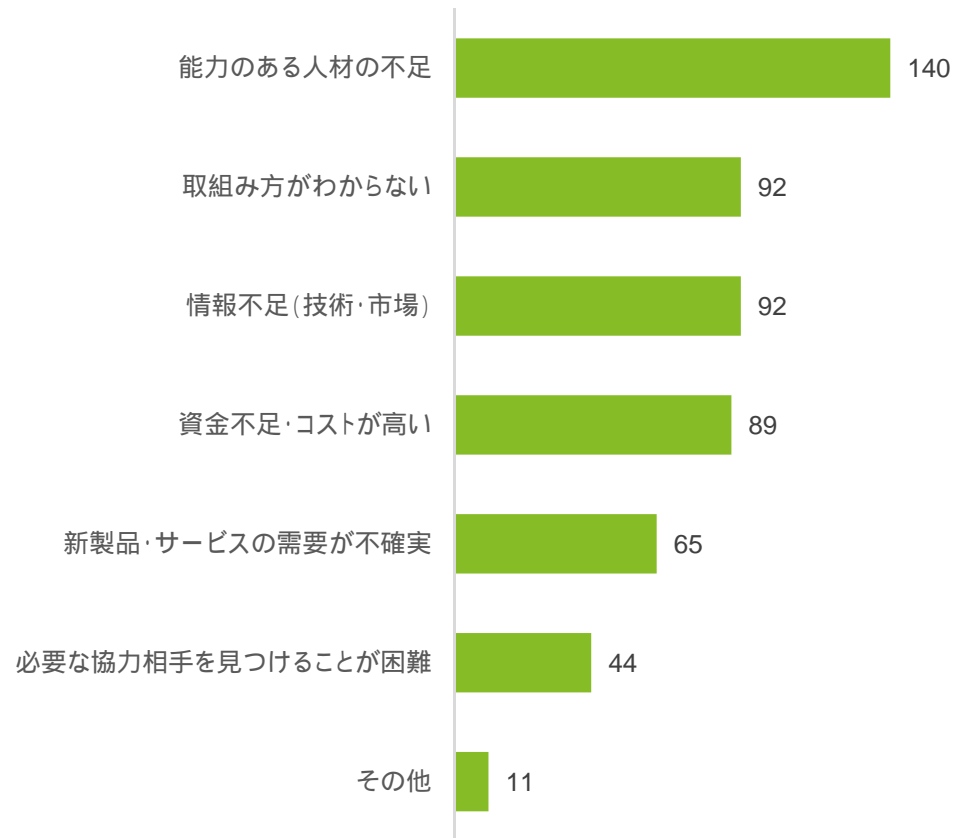
(社)



【質問5】

事業戦略見直しの阻害要因(n=267)

事業戦略を見直す上での阻害要因をお選びください(複数選択可)。



「その他」の内訳

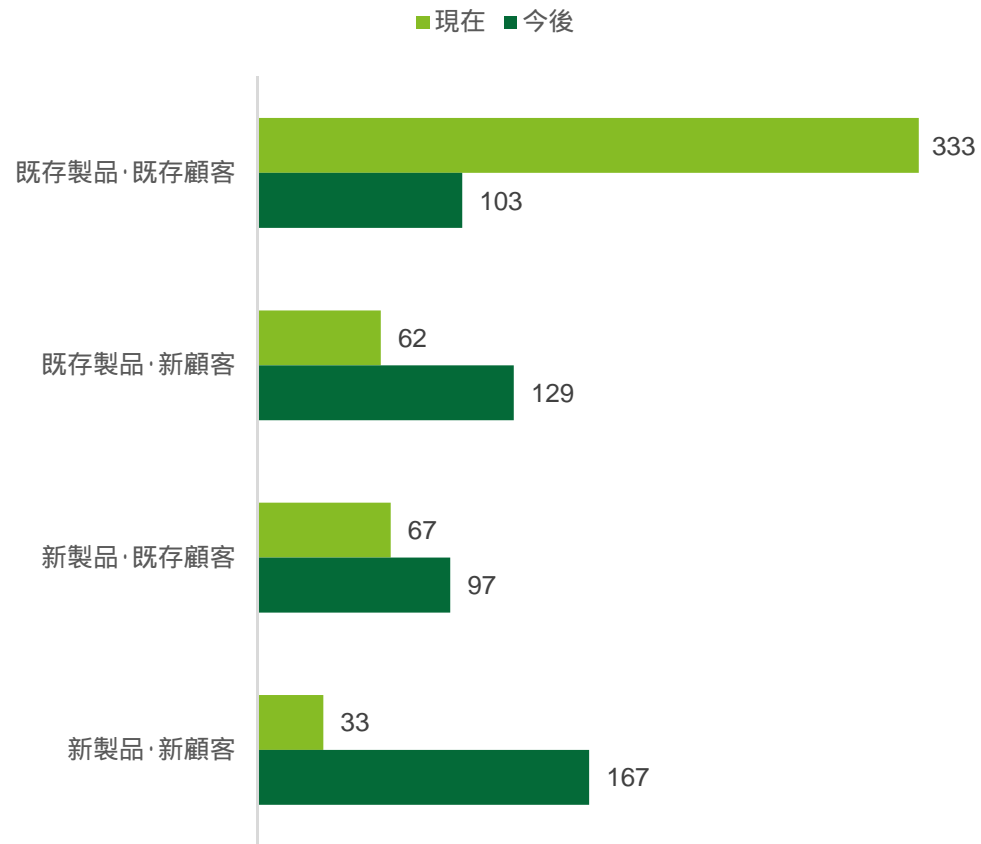
- ・高齡化
- ・請負先や親会社の意向
- ・人手不足・時間不足
- ・特になし 等

(社)

【質問5】

事業戦略見直しの方向性 (現在n=495,今後n=496)

事業戦略見直しの取組の方向性で、最も近いものを現在及び今後で一つずつお選びください。

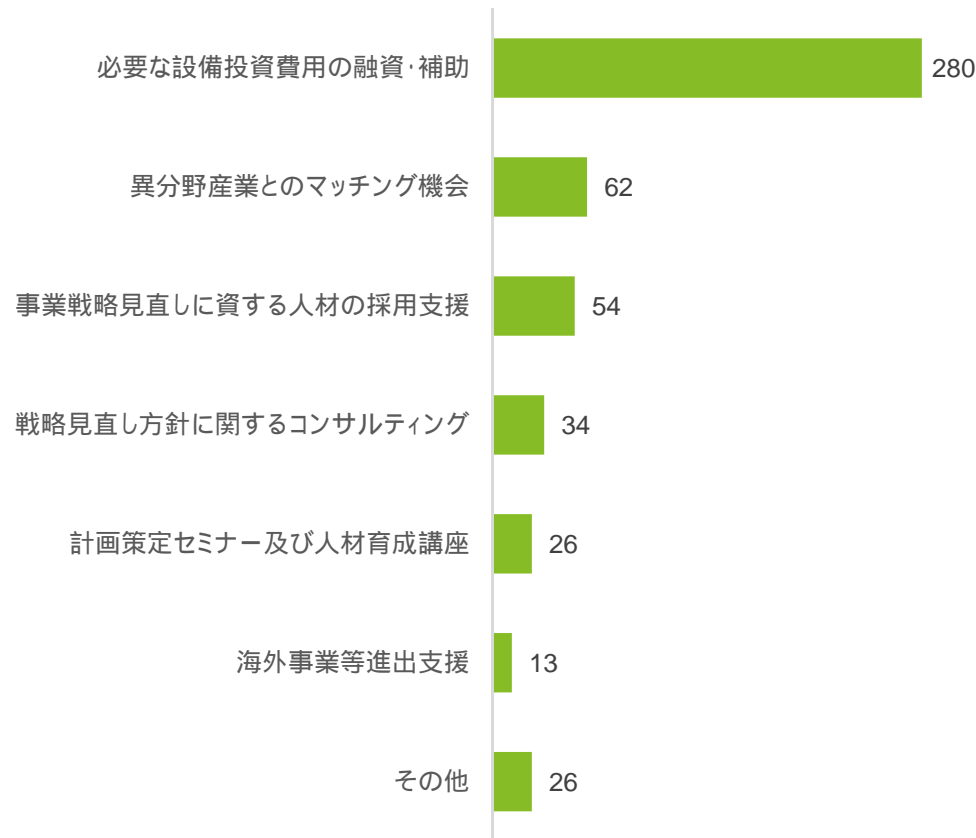


(社)

【質問5】

事業戦略見直しについて期待する支援(n=495)

事業戦略見直しの取組を推進するうえで、国や県に最も期待することを一つお選びください。



(社)

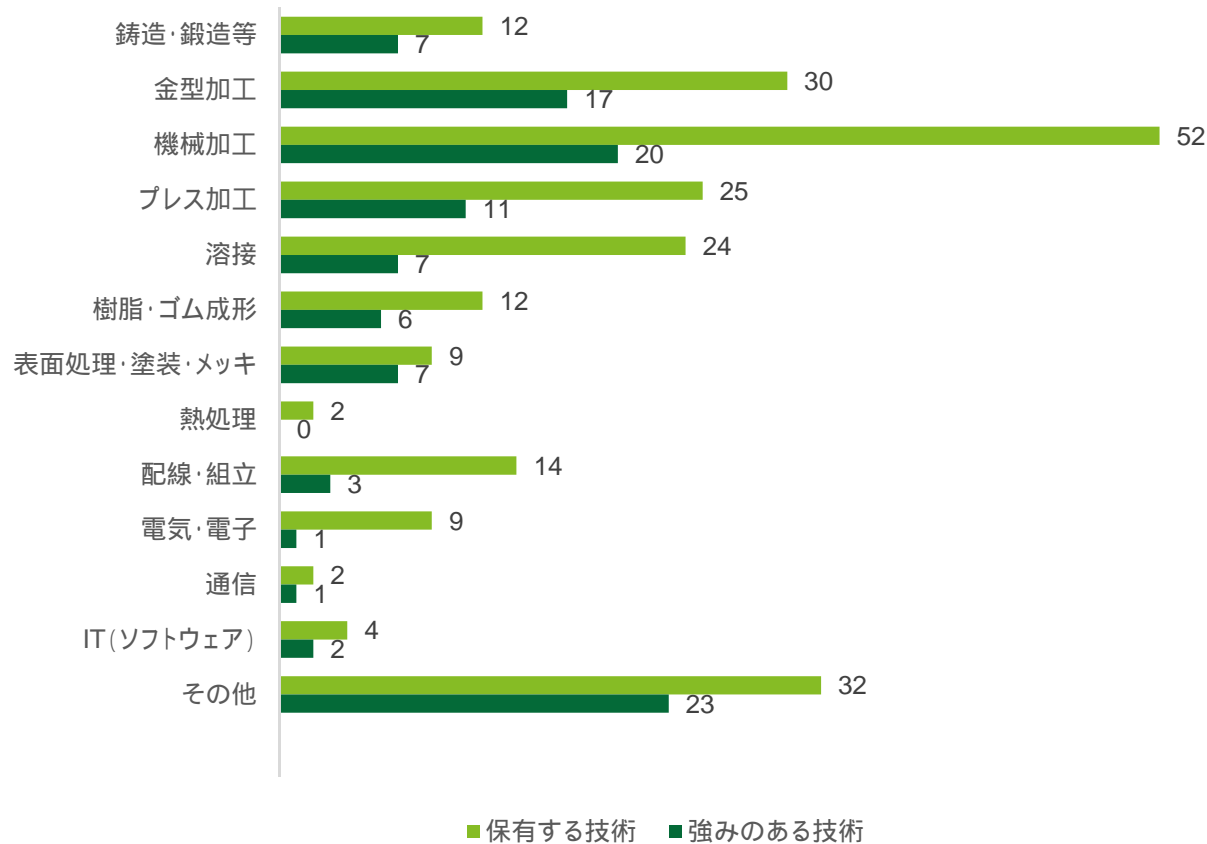
「その他」の内訳

- ・建物の修繕や耐震・消防対応
- ・地方の人口流出緩和活動
- ・開発費用の特別融資枠
- ・コロナ禍回復までの経済的支援
- ・技術系人材の供給
- ・特になし 等

【質問5】

保有する技術、強み (n=142)

貴社が保有している技術をお選びください(複数選択可)。中でも強みを持つ技術については強みをご記入ください。



「その他」の内訳

- ・機械設計技術
- ・検査治具等の作成
- ・オーダーメイド対応・手作業中心・職人作業等
- ・高圧ガスの製造、混合ガスの充填
- ・素材開発
- ・シミュレーションやCADを用いた設計技術
- ・ガラスウール使用品
- ・デザイン
- ・既存設備の改造
- ・特になし 等

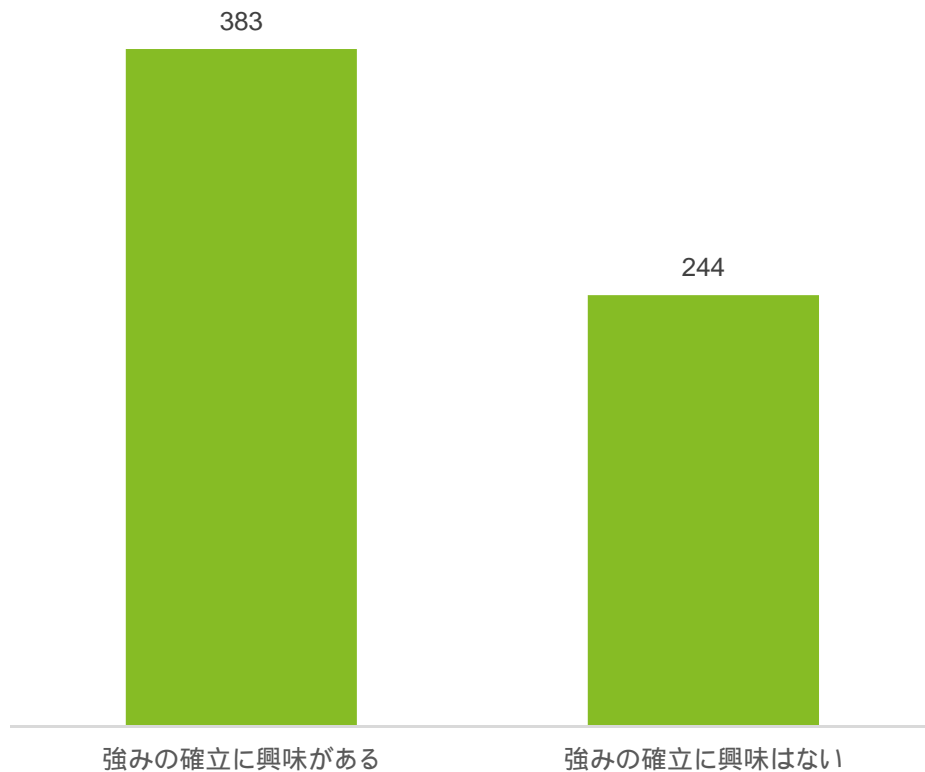
(社)

【質問5】

強みの確立への興味 (n=627)

今後貴社の強みの磨き上げや確立に向けた取組への関心やご意向はございますか。

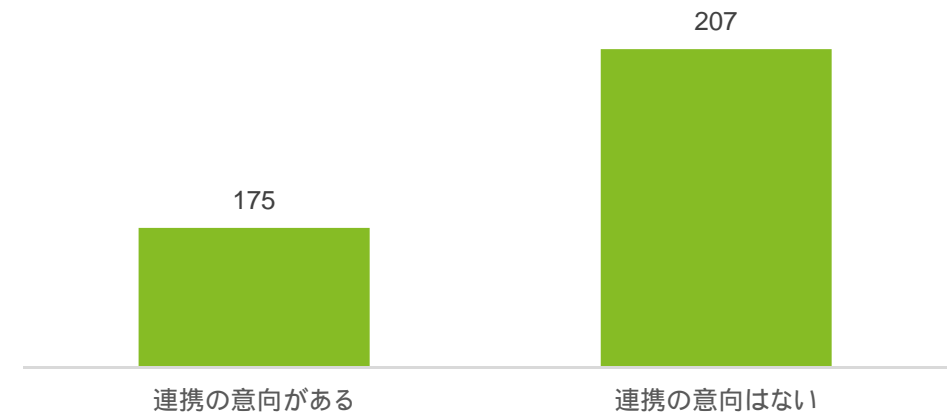
(社)



他社との連携 (n=382)

また、その際に他の企業や研究機関等との連携をお考えですか。

(社)

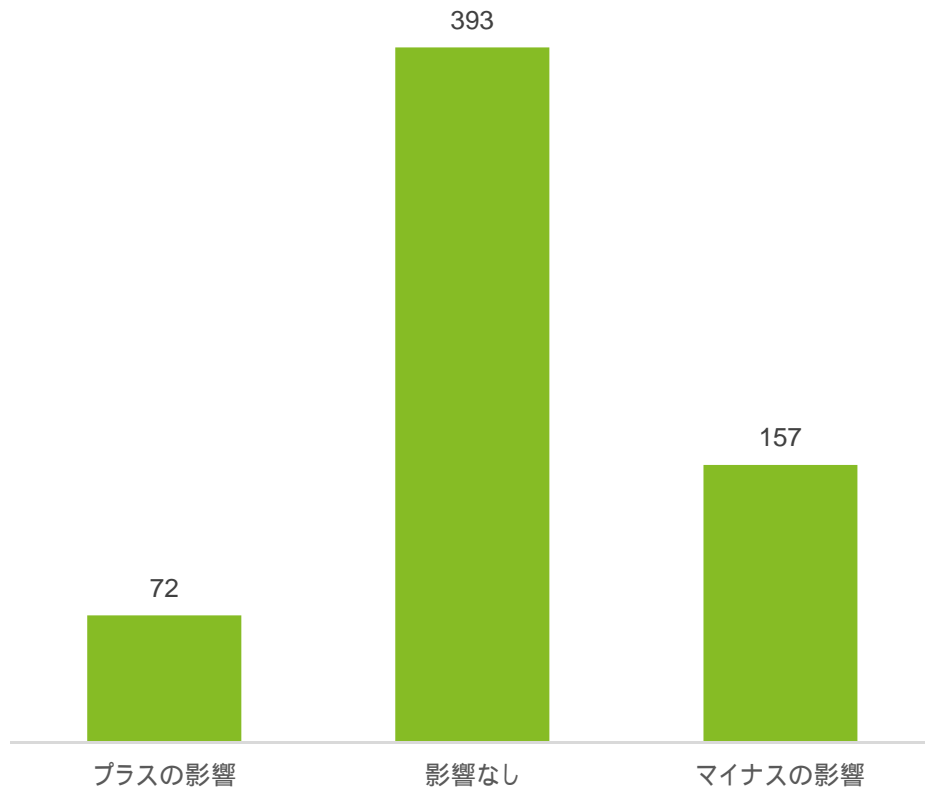


【質問6】

オンライン商談による影響 (n=622)

オンライン商談(Web会議)などの販路開拓のデジタル化が進んでいます。これにより貴社の営業活動に想定される影響度合いを一つ選んでください。

(社)



具体的な影響

プラスの影響

- ・出張の費用・手間の削減
- ・オンラインショップの売り上げ増加
- ・タイムリーな打ち合わせが可能
- ・今までと異なる企業との商談 等

マイナスの影響

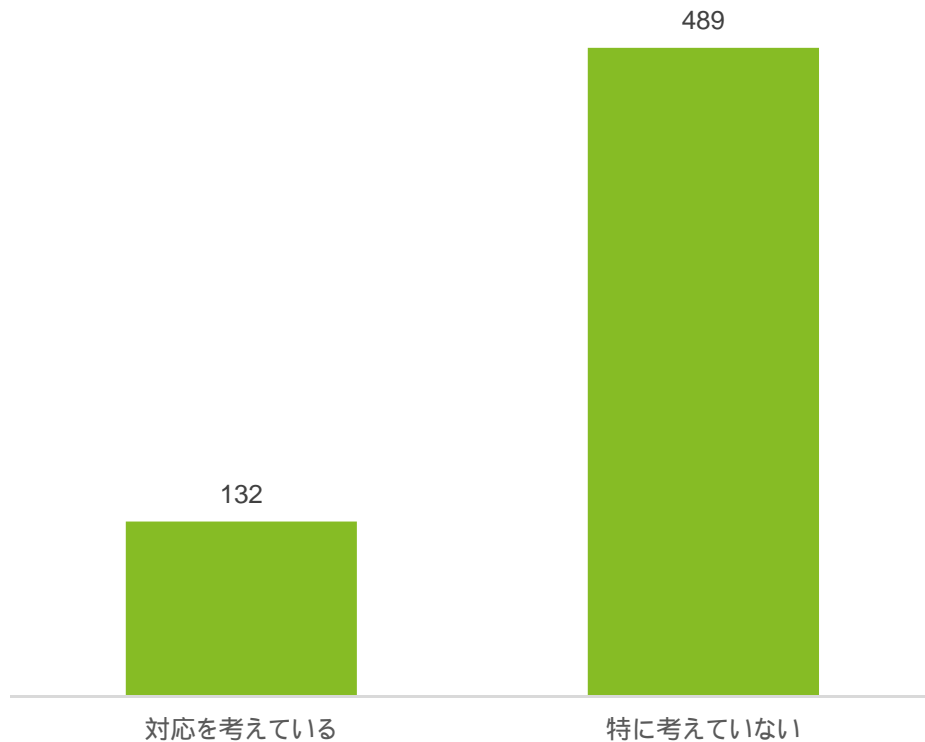
- ・本音や対面でしか得られない情報がある
- ・導入費用が掛かる
- ・試飲や試食、サンプルの提供ができない
- ・飛び込み営業ができない
- ・セキュリティの懸念から導入していない
- ・オンラインツールを導入していない企業への営業機会減少 等

【質問6】

販路デジタル化の対応 (n=621)

販路開拓のデジタル化への対応をお考えですか。最も近いものを一つお選びください。

(社)



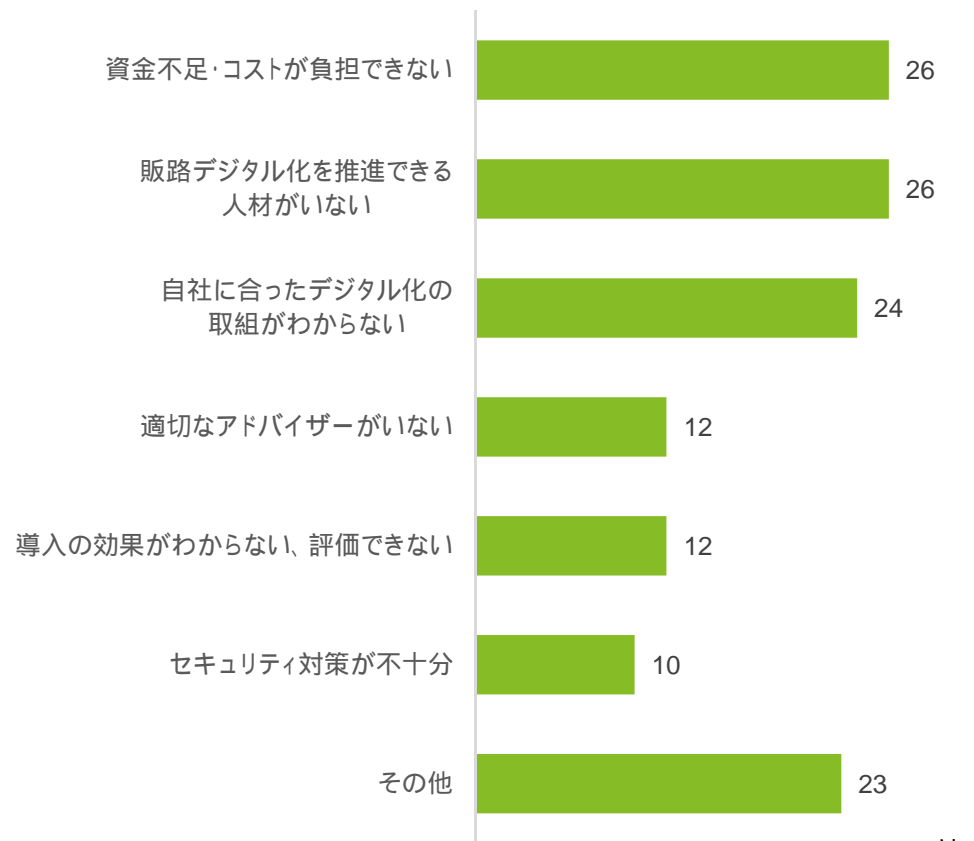
想定している対応案

- ・ECサイトやSNSの活用
- ・ホームページの作成/充実/強化
- ・Zoom等ビデオ会議ツールの活用
- ・ネット人材の採用
- ・カタログなどにデジタルコンテンツの充実
- ・デジタル立ち合いの開始 等

【質問6】

販路デジタル化の障害(n=133)

販路開拓のデジタル化の取組を進めていくうえで最も障害となっている(なった)ことを一つお選びください。



(社)

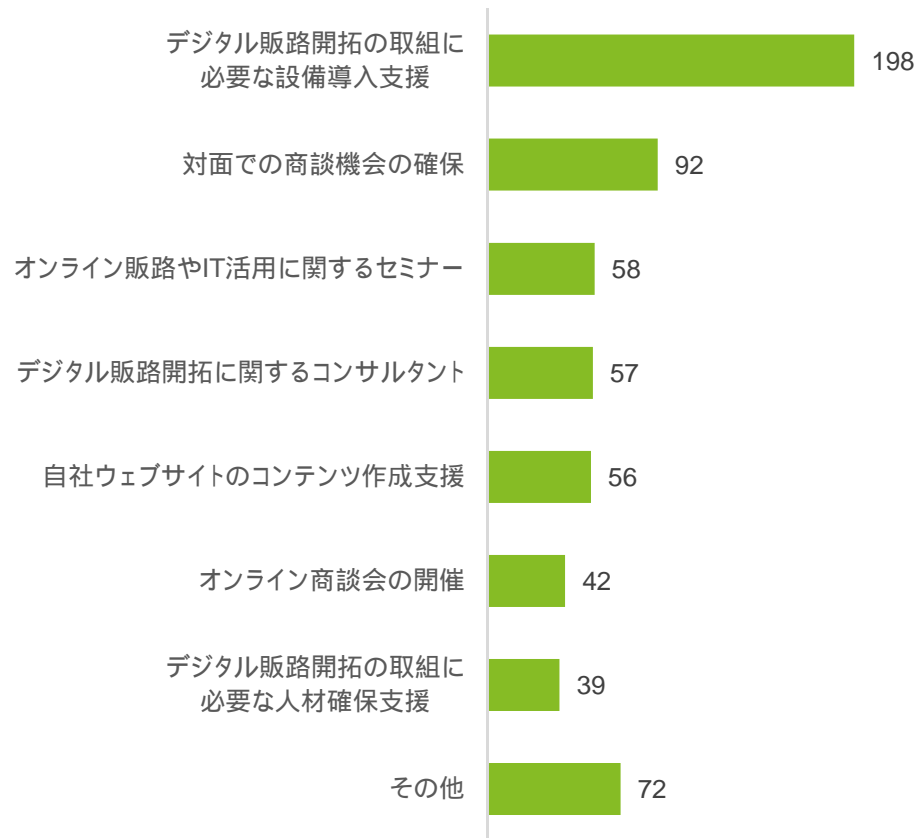
「その他」の内訳

- ・情報リテラシーの不足
- ・光通信ができない地域である
- ・対面型の商習慣
- ・ネット掲載料金が低い
- ・優先順位が低い
- ・特になし 等

【質問6】

デジタル販路開拓について期待する支援(n=614)

販路開拓のデジタル化の取組を進めていくうえで、国や県に最も期待することを一つお選びください。



(社)

「その他」の内訳

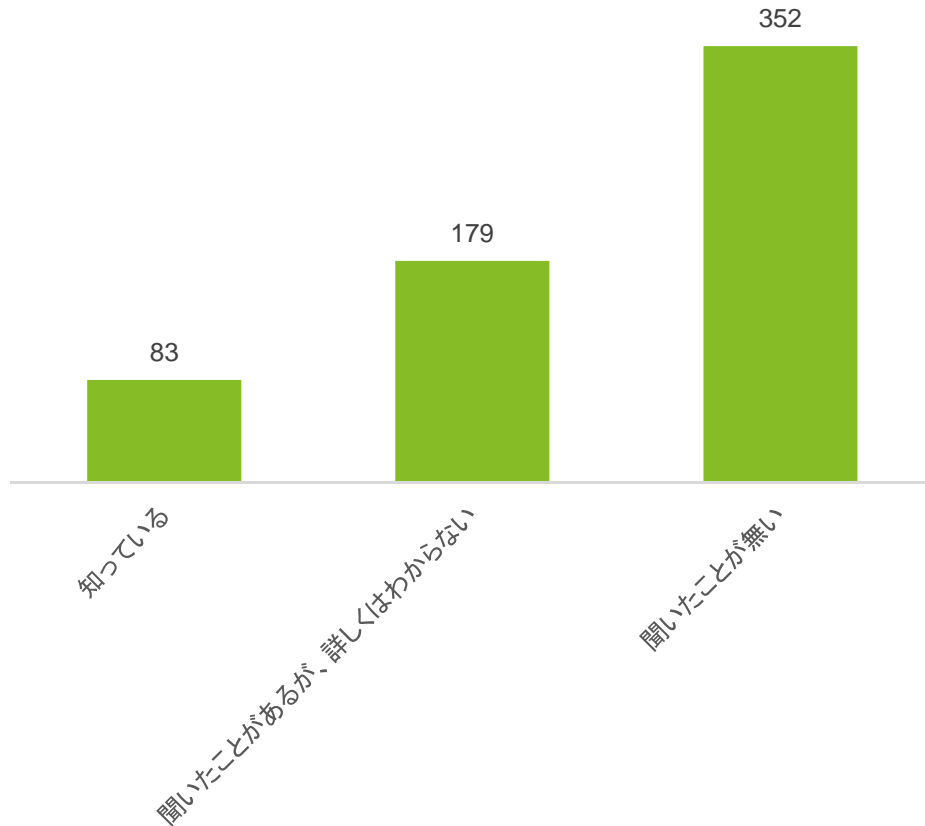
- ・資金援助
- ・安全なネットワークの構築支援
- ・地域の情報インフラ整備
- ・特になし 等

【質問7】

DXの認識について(n=614)

人口減少、CASEの進展、コロナ禍等の事業を取り巻く環境変化を踏まえて、デジタル・トランスフォーメーション(DX)によるビジネス変革の必要性が注目されていますが、DXという言葉をご存じですか。最も近いものを一つお選びください。

(社)

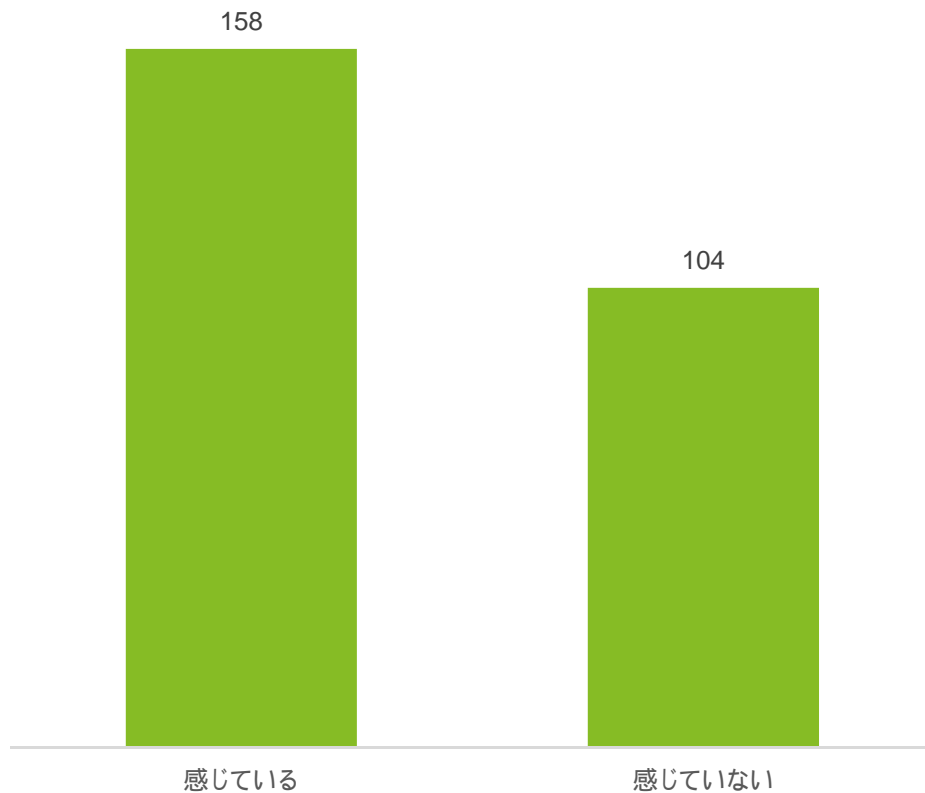


【質問7】

DXの必要性(n=262)

貴社ではDXの活用を含めた現状のビジネス変革の必要性を感じていますか。

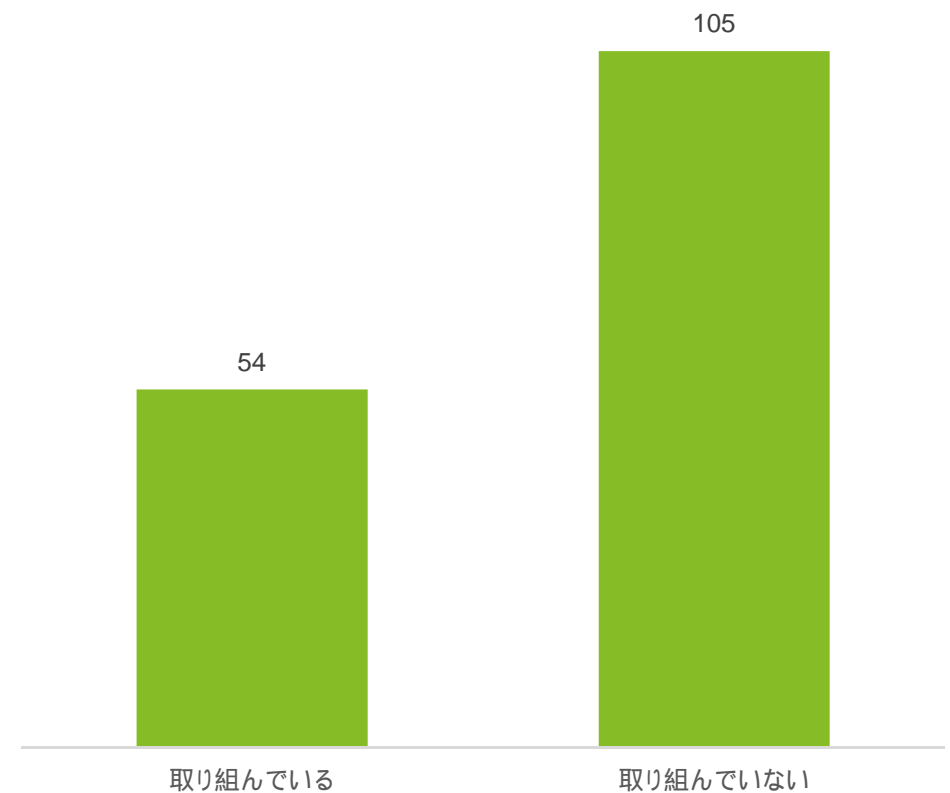
(社)



DXの取組(n=159)

またそのような取組を行っていますか。

(社)



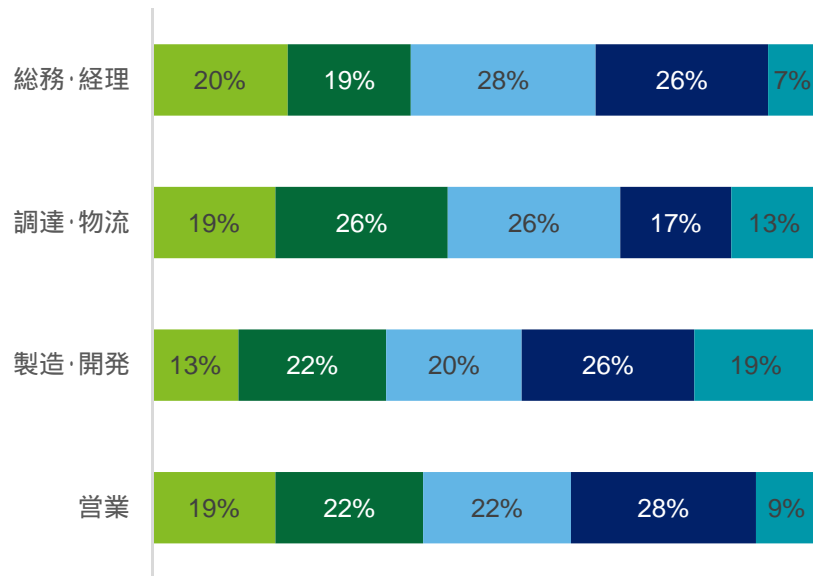
【質問8】

実施中のDXの取組(n=54)

現時点の貴社のDXの取組について、各部門での取組の状況に最も近いものを、下の選択肢から一つずつお選びください。

- 1...IoT技術の活用やデータの活用は特に行っていない
- 2...既存のIoT技術を活用しているが、部門のデータ活用は行っていない
- 3...部門のデータ活用のため、データ収集は行っているが活用できていない
- 4...部門でデータ収集を行い、部門内でそのデータを活用している
- 5...部門でデータ収集を行い、他部門へのデータ共有・連携を図っている

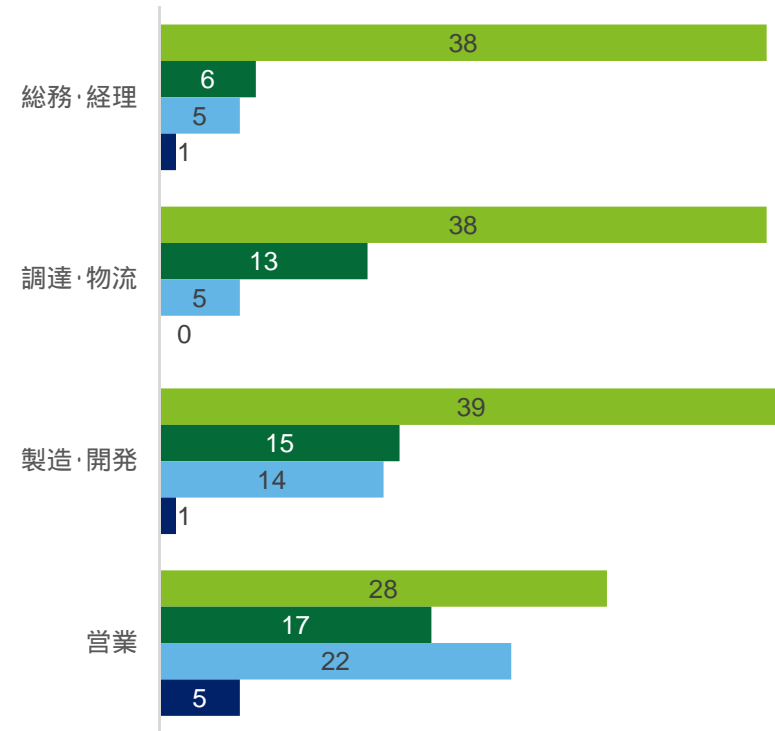
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



取組の目的(n=54)

また、取組状況が「2」以上の各部門についてDXを推進している目的に合致するものをお選びください(複数選択可)。

- 業務効率化に伴う生産性向上
- 既存ビジネスの変革
- 新規ビジネス創出
- その他



(社)

【質問9】

目標DXレベル(n=152)

貴社の今後のDX活用を推進するうえで、各部門での目標に最も近いものを、下の選択肢から一つずつお選びください。

- 1...IoT技術の活用やデータの活用は特に行っていない
- 2...既存のIoT技術を活用しているが、部門のデータ活用は行っていない
- 3...部門のデータ活用のため、データ収集は行っているが活用できていない
- 4...部門でデータ収集を行い、部門内でそのデータを活用している
- 5...部門でデータ収集を行い、他部門へのデータ共有・連携を図っている

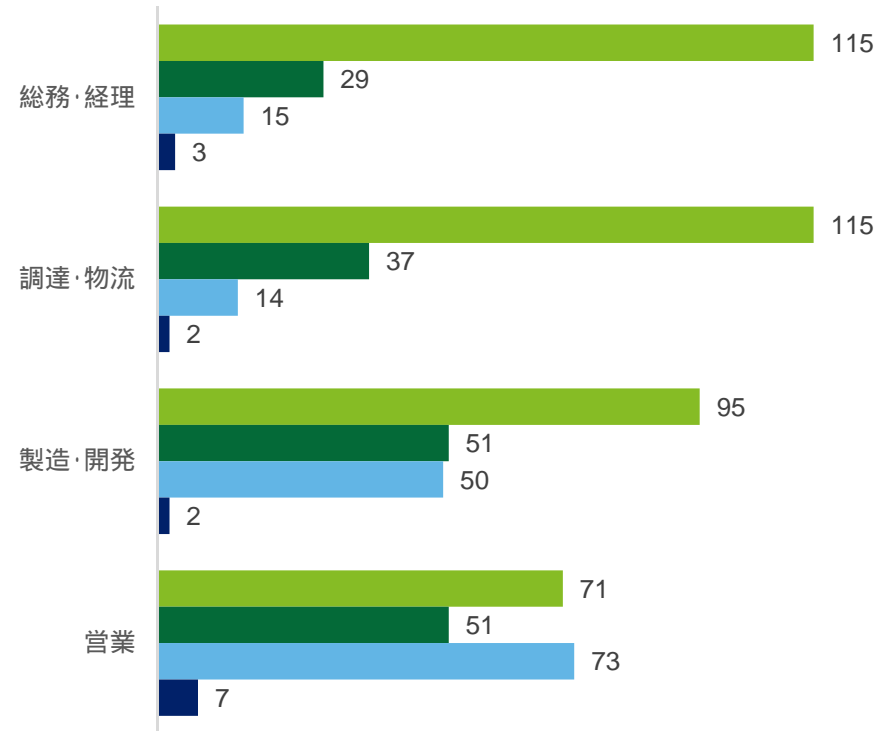
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



DXを導入する目的(n=152)

目標が「2」以上の各部門について各部門でDXを推進する目的に合致するものをお選びください(複数選択可)。

- 業務効率化に伴う生産性向上
- 既存ビジネスの変革
- 新規ビジネス創出
- その他



(社)

【質問10】

DX対応の課題(n=614)

貴社においてDXに対応する際の課題として当てはまるものを、最大3つまでお選びください。



(社)

【質問10】

DX対応の課題(n=614)

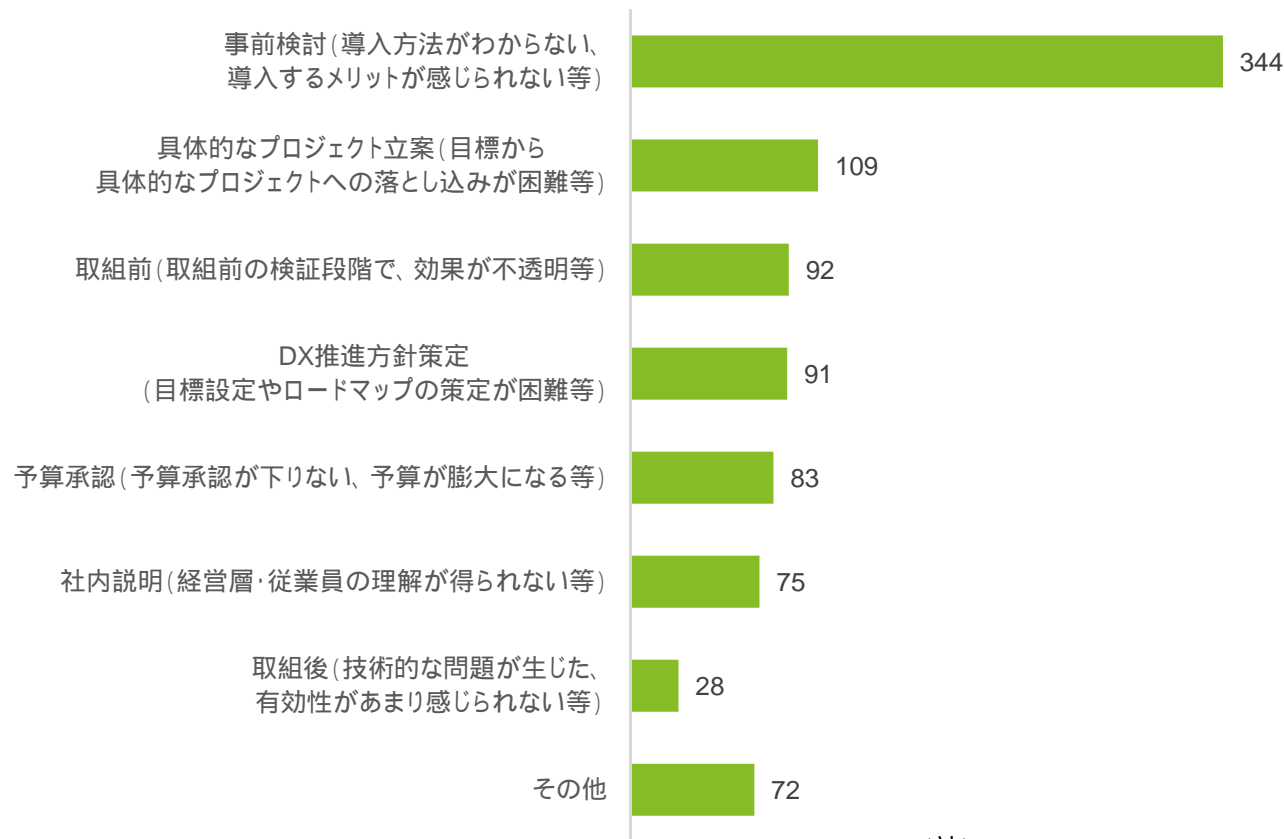
「その他」の内訳

- ・DXにより本業の存続意義が棄損する(印刷業)
- ・情報収集中
- ・検討を開始していない
- ・相手先の環境が不明
- ・リソース不足(時間・人的)
- ・DXに取り組む必要がない
- ・DXを知らないからよくわからない
- ・特になし 等

【質問10】

DX導入プロセス上の阻害要因(n=614)

DXに対する取組を進めるプロセスにおいて、主な阻害要因が発生した(発生し得る)ものをお選びください(複数選択可)。



「その他」の内訳

- ・各法規制 (個人情報保護など)
- ・費用対効果が見えない
- ・時間的余裕がない
- ・相手先の状況が分からない
- ・DXに取り組む必要性がない
- ・DXを知らない
- ・特になし 等

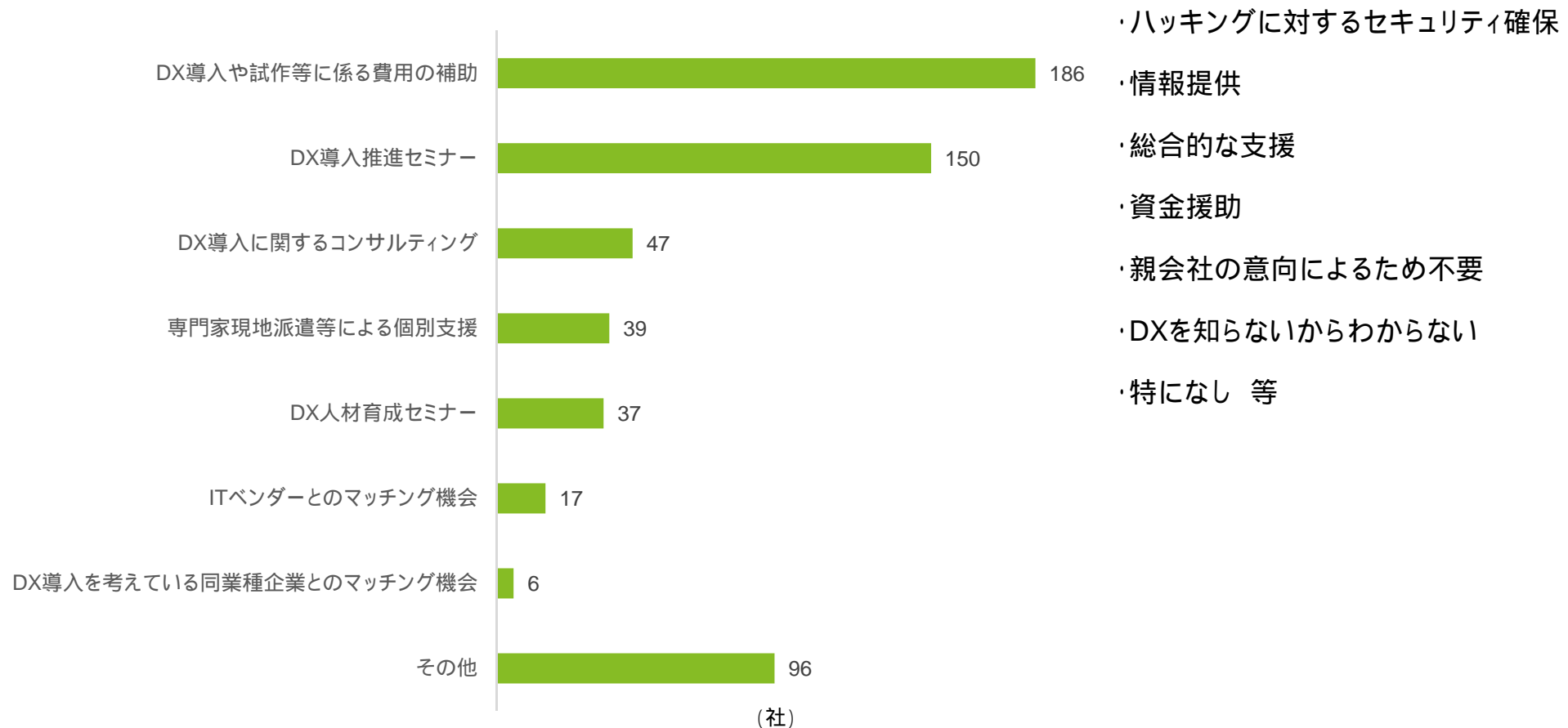
(社)

【質問10】

DX推進上、期待する支援(n=578)

DXの推進を進めていくうえで、国や県に最も期待することを一つお選びください。

「その他」の内訳

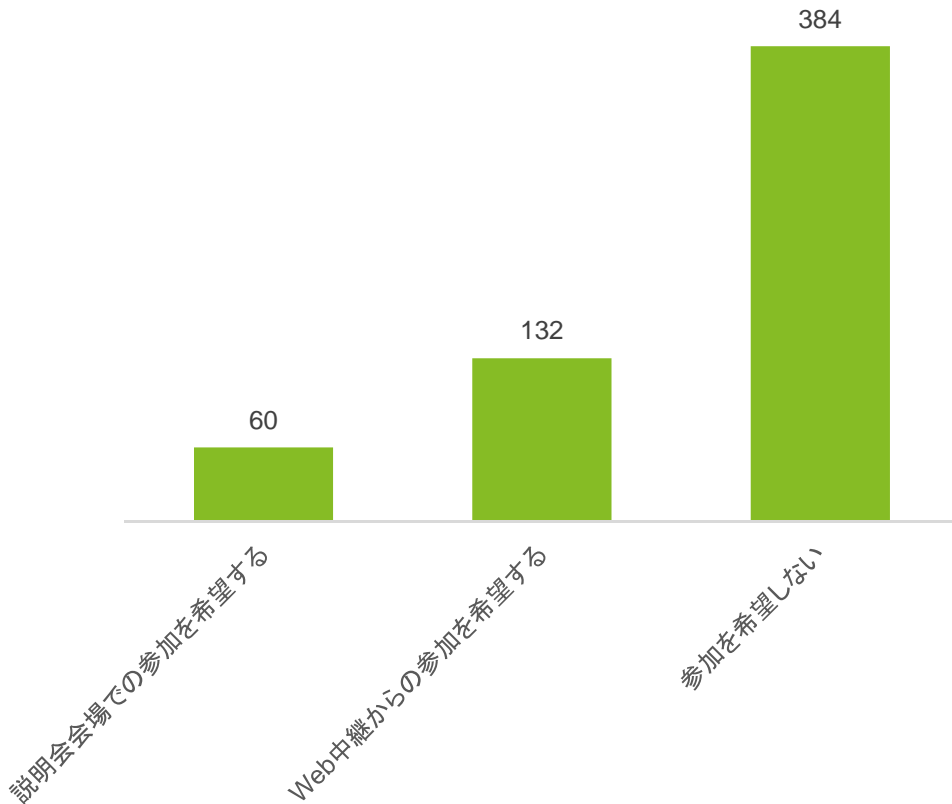


【質問11】

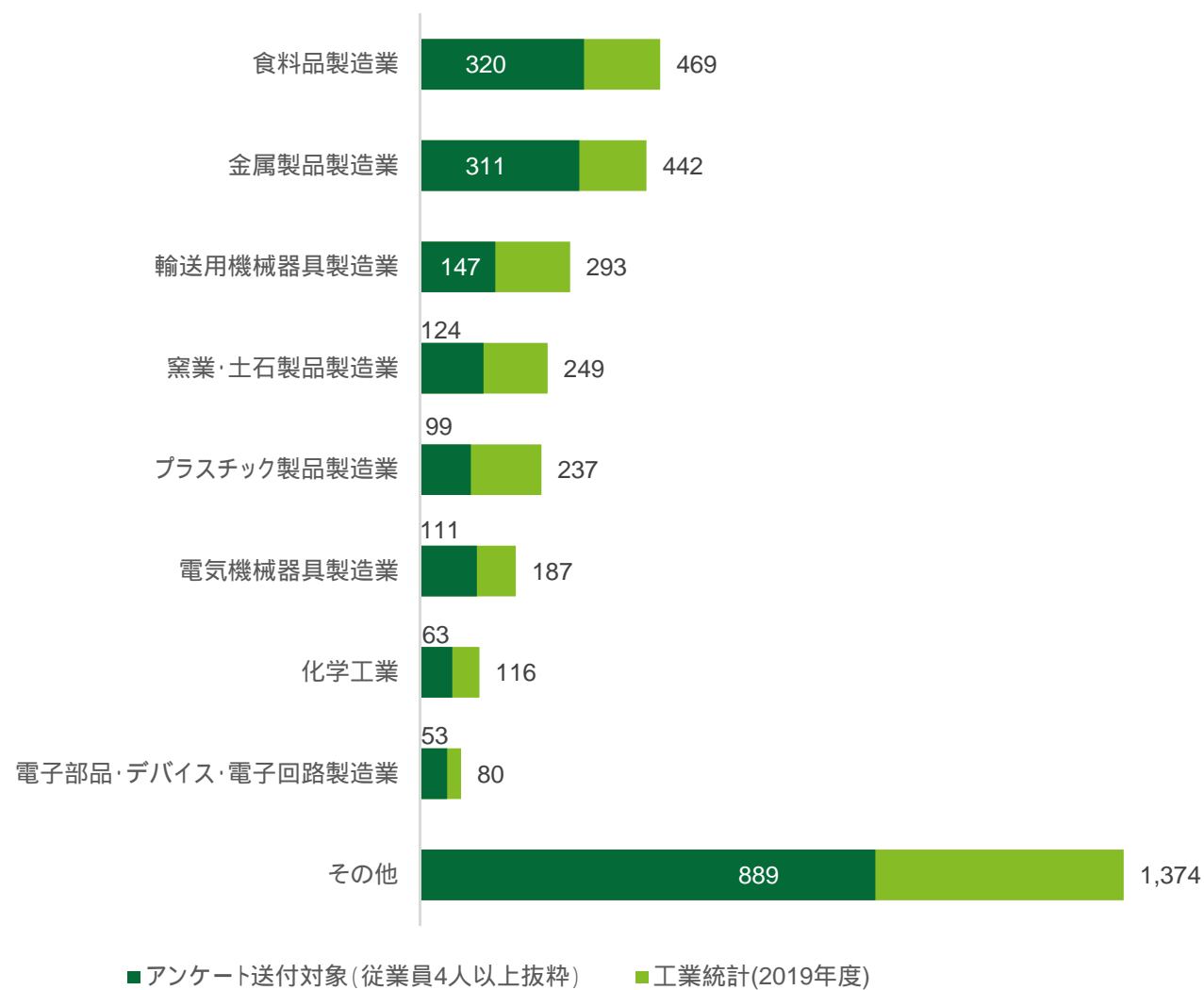
セミナー参加希望(n=576)

この度、DX活用を開始・促進する三重県内事業所を対象に、三重県内主要都市にてDX活用セミナーを開催しますが、参加を希望されますか。

(社)



【参考】 アンケートを送付した企業数と工業統計に掲載されている企業数(従業員4人以上の企業のみ抜粋)



その他に含まれる主な種別ははん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、繊維工業、木材・木製品製造業(家具を除く)等